

nord piano 2

H A M M E R A C T I O N HA88

ユーザー・マニュアル Nord Piano 2

OS Version 1.x

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。

WARNING:
TO REDUCE THE RISK OF FIRE OR ELECTRIC SHOCK DO NOT EXPOSE THIS PRODUCT TO RAIN OR MOISTURE.



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続する。アース接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから取り外してから行う。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートのおそれがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。
- 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき

- ⊘ 本製品を分解したり改造したりしない。
- ⊘ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。

- 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。
- 温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



● 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



● 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。

● 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。

● 本製品に液体をこぼさない。



● 濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります



- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



● 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



● 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。

● 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線しない。本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。

● スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。

故障の原因になります。

● 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。

● 不安定な場所に置かない。

本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。

本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 本製品の隙間に指などを入れない。

お客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

● 地震時は本製品に近づかない。

● 本製品に前後方向から無理な力を加えない。

本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。データを他のメディア等へセーブすることのできる製品では、大切なデータはこまめにセーブすることをお勧めします。

Nord Piano 2 ユーザー・マニュアル

1 はじめに

ありがとうございます!.....	4
このマニュアルについて.....	4
OSとインターナル・メモリー.....	4
Nord Sound Manager.....	4
ファクトリー・プログラム.....	4
ファクトリー・プログラムに戻す.....	4
OSのアップグレード.....	4
フリー・サウンド.....	4
商標について.....	4

2 Nord Piano 2 について

Nord Piano 2とは?.....	5
ピアノ・ライブラリーV5.....	5
4種のサイズ・バリエーション.....	5
ストリング・レゾナンス.....	5
ペダル・ノイズ.....	5
サンプル・シンセ.....	6

3 パネル・オーバービュー

ノブとボタン.....	7
ノブ.....	7
セレクター・ボタン.....	7
On/Off、ソース・ボタン.....	7
シフト・ボタン.....	7

4 接続する

オーディオの接続.....	8
ヘッドフォン端子.....	8
L/Rアウトブット端子.....	8
モニターイン端子.....	8
MIDIの接続.....	8
MIDIイン.....	8
MIDIアウト.....	8
USBの接続.....	8
ペダルの接続.....	9
サスティン・ペダル・インブット.....	9
Nord Triple Pedalについて.....	9
ボリューム・ペダル・インブット.....	9
譜面立て.....	9

5 使い始める

プログラムについて.....	10
プログラムを選択する.....	10
プログラムをエディットする.....	10
別のピアノ・サウンドを選択する.....	10
メモリー・プロテクト.....	11
プログラムを保存する.....	11
ライブ・モード.....	11
サンプル・シンセ・サウンドを選択する.....	11
キーボード・スプリット.....	12
トランスポーズ.....	12
エフェクトをかける.....	12
ディレイを使う.....	12
アコースティックス.....	13
キーボード・タッチ・セッティング.....	13

6 Nord Piano 2 リファレンス

マスター・レベル.....	14
MIDIインジケーター.....	14
プログラム・セクション.....	14
UP/DOWNボタン.....	14
バンク・セレクト.....	14
メニュー.....	14
ディスプレイ.....	14
ストア・ボタン.....	14
別名で保存(Save As...).....	14
プログラム1~5ボタン.....	15
シフト・ボタン.....	15
ライブ・モード.....	15
パニック・ボタン.....	15
キーボード・スプリット・ボタン.....	15
SYNT/PNOインジケーター.....	15
PNO/SYNTインジケーター.....	15
スプリット・ポイントを設定する.....	15
トランスポーズ.....	15
トランスポーズを解除する.....	15
キーボード・タッチを設定する.....	15
モノ・アウトブット.....	15
ピアノ・セクション.....	16
レベル・ノブ.....	16
アコースティックス.....	16
ストリング・レゾナンス.....	16
ロング・リリース.....	16
ペダル・ノイズ.....	16
ピアノ・タイプ.....	16
ピアノ・モデル.....	16
ピアノ・オクターブ・シフト.....	17
ONボタン.....	17
インフォ.....	17
サンプル・シンセ.....	17
レベル・ノブ.....	17
アタック・ノブ.....	17
リリース・ノブ.....	17
ONボタン.....	17
インフォ.....	17
サンプルを選択する.....	17
サンプル・オクターブ・シフト.....	17
エフェクト・セクション.....	17
エフェクト1.....	18
エフェクト2.....	18
ディレイ.....	18
イコライザー.....	18
アンプ/コンプレッサー.....	18
リバーブ.....	18

7 メニュー

システム・メニュー.....	19
メモリー・プロテクト.....	19
ファイン・チューン.....	19
グローバルトランスポーズ.....	19
MIDIメニュー.....	19
MIDIチャンネル.....	19
ローカル・コントロール.....	19
コントロール・チェンジ・モード.....	19
プログラム・チェンジ・モード.....	19
センドCC(コントロール・チェンジ).....	19
ダンブ・プログラム(One, All).....	19
サウンド・メニュー.....	20
ピアノ・ペダル・ノイズ・レベル.....	20
ピアノ・ストリング・レゾナンス・レベル.....	20
FXディレイ・モード.....	20
ペダル・メニュー.....	20
ピアノ・ペダル.....	20
ボリューム・ペダル・タイプ.....	20
ボリューム・ペダル・ファンクション.....	20
ソステヌート・ペダル・ファンクション.....	20

8 Nord Sound Manager

動作環境.....	21
インストールする.....	21
USBドライバのインストール.....	21
Sound Managerのインストール.....	21
オーバービュー.....	21
ツールバー.....	22
タブ.....	22
パーティション・メモリー・インジケーター.....	22
右クリック/Ctrlクリック.....	22
クイック・ツアー.....	23
サウンドをNord Piano 2に転送する.....	23
サウンドを消去する.....	23
新しいサウンドをダウンロードする.....	23
リプレイス.....	23
リリンク.....	24
ダウンロードキュー.....	24
サウンドをアップロードする.....	24
プログラム・バンドル.....	24
プログラム・バンドルをアップロードする.....	25
バンドル・ファイルをダウンロードする.....	25
プログラム・パーティションをオーガナイズする.....	26
サーチ・ボックスで検索する.....	26
オート・セレクト.....	26
バックアップ・ファイルを作成する.....	26
レストアする.....	26
Sound Managerリファレンス.....	27
ツールバー.....	27
メニュー・コマンド.....	29
ファイル・メニュー.....	29
エディット・メニュー.....	30
ビュー・メニュー.....	30
ヘルプ・メニュー.....	30
タブ.....	31
Piano - Samp Lib - Program.....	31
サーチ・ボックス.....	31
ロケーション(Loc).....	31
ネーム.....	31
サイズ.....	31
バージョン・ナンバー(Ver).....	31
インフォ.....	31
フッタ・エリア.....	31
パーティション・メモリー・インジケーター.....	31
キャンセル・ボタン.....	31
プログレス・バー.....	31
メッセージ/テキスト・エリア.....	31
新しいツール、新しいサウンド.....	31

9 MIDI

MIDIインプリメンテーションについて.....	32
ノート・オン/オフ.....	32
コントローラー.....	32
キーボード・ペロシティ.....	32
プログラム・チェンジ.....	32
MIDIシステム・エクスクルーシブ.....	32
Nord Piano 2をシーケンサーで使用する.....	32
シーケンサーと接続する.....	32
ローカル・オン/オフ.....	32
MIDIチャンネル.....	32
プログラム・チェンジ.....	32
コントローラー.....	32
コントローラーの「チェイス」機能について.....	32
プログラム&コントローラー・ダンブ.....	33
プログラム・ダンブを送信する.....	33
MIDIコントローラー・ダンブを送信する.....	33
システム・エクスクルーシブ・ダンブを受信する.....	33
MIDIコントローラー・リスト.....	33
MIDIインプリメンテーション・チャート.....	34

10 索引

索引.....	35
---------	----

1 はじめに

ありがとうございます!

このたびはNord Piano 2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の開発にあたって私たちが心に決めたゴールは、可搬性に優れたサンプル・シンセ機能を備えたベストのプロフェッショナル・ステージ・ピアノを作り上げることでした。私たちが本機の開発過程を楽しんだのと同様に、この楽器を存分にお楽しみいただけること、それが私たちにとって何よりの喜びです。

このマニュアルについて

新しい楽器を手に入れたら、今すぐにでも使いたくてウズウズするのは誰でも同じかと思います。私たちもその気持を冷めさせてしまおうなどということは考えておりません。ですからこのマニュアルの最初から数ページ分で本機の使い方に関する基本的なことをご説明いたします。それ以降は本機のすべての機能を詳しくご紹介するページになっています。

OSとインターナル・メモリー

Nord Piano 2のオペレーティング・システム、ピアノ・サウンド、プログラムはフラッシュ・メモリーに入っています。フラッシュ・メモリーは本体の電源が切れている状態でもメモリー内容を保存しておけます。また、保存してあるデータをいつでも入れ替えることができるのもフラッシュ・メモリーの大きな利点です。つまり、Nord Piano 2のオペレーティング・システム、ピアノ・サウンドやプログラムをコンピュータ経由で更新することができます。Nord Piano 2のUSB端子を使って新しいピアノ・サウンドを素早く、しかも簡単に更新できます。

Nord Sound Manager

Nord Sound Managerは、Nord Piano 2内のサウンドやメモリー内容を管理するコンピュータ用のアプリケーションで、本機に付属のDVDに収録されています。本アプリケーションの詳細につきましては、本マニュアルの第8章をご参照ください。

ファクトリー・プログラム

Nord Piano 2のインターナル・プログラム・メモリーには、A/B 2バンク×24ページ×5プログラムの、合計240プログラムがあります。加えて、5つのライブ・バッファ・メモリーがあります。これは、プログラムをエディットするとすぐに自動的に保存され、本体の電源を切ってもキープできるメモリーのことです。

Nord Piano 2の240個のプログラムは、すべて書き換えが可能です。残しておきたいプログラムを誤って上書き保存してしまっても良いように、定期的にプログラムのバックアップをコンピュータに取っておきましょう。この操作は、Nord Sound Managerアプリケーションを使って行えます。

ファクトリー・プログラムに戻す

ファクトリー・プログラムとピアノ・サウンドはNord Sound Managerのバックアップ・ファイル形式でNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)からダウンロードできます。また、本機に付属のNord Piano DVDにも収録されています。

OSのアップグレード

Nord Piano 2の最新OSはwww.nordkeyboards.comからダウンロードできますので、OSを最新の状態でいつもお使いいただけるよう、定期的にウェブサイトに立ち寄ってみてください。

フリー・サウンド

Nord Piano 2は、いわゆる「オープン・システム」を採用していますので、本体に内蔵のピアノやサンプルといった各サウンドはNord Sound Managerアプリケーションを使って自由に入れ替えることができます。

また、Nord Piano 2は継続的にラインナップが拡充しているNord Piano Library、Nord Sample Libraryと互換性があります。このライブラリーにあるサウンドの多くは付属DVDにも収録されていますが、最新サウンドはウェブサイト(www.nordkeyboards.com)から無料でダウンロードできます。これでまたNordウェブサイトにアクセスしやすくなりますね。

商標について

本マニュアルに記載の製品名やブランド名は各所有者の商標であり、Clavia社とはいかなる関係もありません。また、それらの商標は本機のサウンドを説明するためにのみ使用しています。

2 Nord Piano 2について

Nord Piano 2とは？

私たちがNord Piano 2の開発で目指したゴール。それは、素晴らしいピアノ・サウンドと最大限の表現力、そしてナチュラルなキーボード・レスポンスに揺るぎないサウンド・クオリティのサンプル・シンセ、さらに強力なエフェクトが加わった、インスピレーションが湧くような楽器を作り上げることでした。このNord Piano 2を末永くお楽しみいただければ何よりです。

本機の主な特長をご紹介します：

ピアノ・ライブラリーV5

Nord Piano 2はNord Piano Libraryにあるピアノ・サウンド・バージョン5と互換性があります。このライブラリーは膨大な時間を費やしてNord Piano 2の諸機能にマッチした最高級のピアノ・サウンドとして作成したものです。

付属DVDにはピアノ・サウンドがカテゴリーごとに分類され、グランド・ピアノやアップライト・ピアノについてはメモリー容量の異なるバリエーションも収録されています。また、新しいサウンドはウェブサイト (www.nordkeyboards.com) から無料で入手できます。

4種のサイズ・バリエーション

スモール、ミディアム、ラージ、エクストラ・ラージのうち、スモール、ミディアム、ラージの3種類はすべて同じ数のペロシティ・レイヤー、サンプル・ポイントで構成されています。つまり、すべてのピアノ・サウンドの基本的なサウンドと表現力はどのサイズのサウンドでも納得のクオリティです。

スモールは基本的なサウンド・クオリティと表現力をキープしたまま、最小限のメモリー・サイズで構成したバージョンです。スモール・サイズではストリング・レゾナンス・サンプルを使用していませんので、このサイズのピアノを選択した場合はストリング・レゾナンス機能は使用できません。

ミディアム・サイズではペダル・ダウン・ストリング・レゾナンス・サンプルを、重要な中音域にのみ使用し、最低音域や最高音域では省略してメモリー・サイズと機能の良いバランスを確保したバージョンです。

ラージ・サイズではペダル・ダウン・ストリング・レゾナンス・サンプルをすべての音域で使用したフル・バージョンです。従ってメモリー・サイズもラージです。

ピアノ・サウンドの中には、エクストラ・ラージ・バージョンもあります。このバージョンは、ラージ以下3種類のサイズよりもサウンド・クオリティと表現力をさらに強化したもので、88鍵すべてに個別のサンプルをマッピングしています。

ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスとは、アコースティック・ピアノの本体内で発生する音響的な現象で、演奏中の音程と、ピアノ内部に数多く張られている弦の基音や倍音のピッチが共鳴するものです。

Nord Piano 2のアコースティック・ピアノ・サウンドでこの機能をオンにすると、実際のピアノ(グランド・ピアノやアップライト・ピアノ)内部で発生する豊かな音響が再現されます。

この機能はミディアムやラージ・サイズのピアノで有効で、特にサスティン・ペダルを踏んだ時に分かりやすいでしょう。サスティン・ペダルを踏んだ時はすべての弦のダンパーが外れることにより、ペダルで伸ばしている音にピアノのすべての弦による豊かな共鳴音がプラスされます。

また、ストリング・レゾナンス機能ではクレシェンド効果を演出することも可能で、同じ鍵盤を同じ強さで繰り返し打鍵すると、そのサウンドに変化が起きます。これは最初の打鍵により既に振動している弦をさらなる打鍵によって異なる位相で弦を振動させることを再現したもので、Nord Piano 2のピアノ音の音量と音色が微妙に揺れるような素晴らしい効果を生み出します。

ペダル・ノイズ

Nord Piano 2に付属のNord Triple Pedalは、本物のダンパー・ペダルのようなメカニカル・ノイズのダイナミック・コントロールやハーフ・ペダリングのテクニックが使える、これまでになかった機能を実現しています。

アコースティック・ピアノのサスティン・ペダルを踏むと、サスティン機構のパーツから様々なサウンドが発生します。Nord Piano 2では、これらのサウンドのうち、主なものを再現しています。

アコースティック・ピアノでは、サスティン・ペダルを踏むとダンパーが弦から離れます。その時に心地よいノイズが聞こえます。ペダルから足を離すとダンパーは再び弦の上に「着地」します。この時にもその「着地」音が出ます。Nord Triple Pedalはペダルを踏む強さに反応するダイナミック式ですので、ペダルを踏んだり離したりする強さに応じて様々なペダル・ノイズを再現することができます。また、ペダルから足を滑らせるようにして離せばペダルはフルパワーで戻りますので、その時にペダル機能のスプリング同士で発生するノイズはペダル・ノイズの中で最も分かりやすいものと言えます。

さらに、ペダルを最大限に踏み込むと「フロア・サウンド」と呼ばれる音も聞こえます。ペダルを踏み込んで、一旦少しペダルを戻してから改めて踏み込み直すとその音がよく聴き取れます。

ペダルを戻してすぐさま再びペダルを踏み込むと、とてもリッチな音が聞こえます。また別のサウンドで「ストンプ」と呼ばれるサウンドがありますが、この音を出すには大きなペロシティが必要ですので足はペダルの上で待機しておく必要があります。

サンプル・シンセ

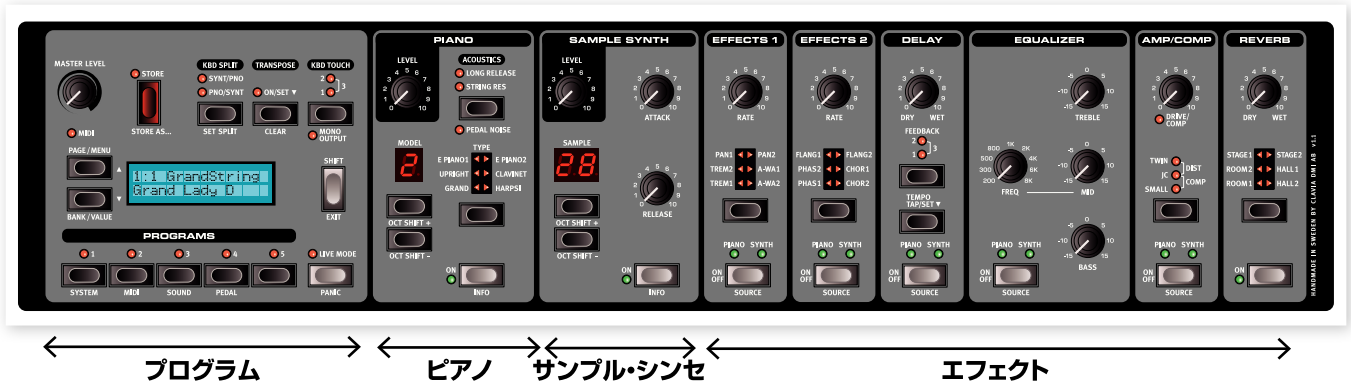
Nord Piano 2のサンプル・シンセを使用することにより、ピアノ・サウンドに別のサウンドを重ねたり(レイヤー)、鍵盤を2つの領域に分けて(スプリット)2つの音色を演奏したりすることが可能になります。Nord Piano 2には、ピアノ・サウンド以外にも様々なアコースティック、エレクトリック・サウンドが満載されています。

そのサウンドには、ピアノ・サウンドに厚みをつけるストリングスやパッド系サウンド、オルガン、マレット系、さらにはシンセ系サウンドも内蔵し、幅広いキーボード・サウンドを演奏できます。また、ベース・サウンドも収録していますので、スプリット機能を利用して左手でベース、右手でコードを演奏することもできます。

これらのサウンドは、必要に応じてすべて入れ替えることも可能です。その作業はNord Sound Mangerを使用して行います。詳しくはNord Sound Managerのチャプターをご参照ください。また、これらのサウンドだけでなく、Nord Sample Libraryには既に1000種類以上もの豊富なサウンドをご用意しています。

そのサウンド(サンプル)は、本機に付属のNord Sample Library DVDに収録されています。また、新たなサンプルが完成した時点で、Nordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)にアップされ、すべて無料でダウンロードすることができます。

3 パネル・オーバービュー



Nord Piano 2のフロント・パネルにはプログラム、ピアノ、サンプル・シンセ、エフェクトの4つのメイン・エリアがあります。ここではそれぞれのエリアを簡単にご紹介するに留め、それぞれの詳細は次章でご説明します。

パネルの左上にはマスター・レベル・ノブがあります。これはL/R2つのアウトプットやヘッドフォン端子から出力されるNord Piano 2全体の音量を調節します。このノブの設定はプログラムにメモリーされません。

プログラム・バンク・セクションにはディスプレイがあり、プログラムの選択や保存、システムやサウンド、MIDIやペダルに関する諸機能の設定を行います。このエリアの詳細は14ページをご参照下さい。

パネルの中央部に目を移しましょう。ディスプレイの左側、ここにはピアノやシンセ・サウンドを選択するピアノ/サンプル・シンセ・セクションがあります。

エフェクト・セクションはその名の通りエフェクト機能をコントロールするセクションです。詳しくは17ページ以降をご覧ください。

ノブとボタン

ノブ

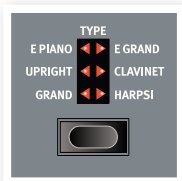
ノブはNord Piano 2のパラメーターのうち、連続的に変化するものに対して使用します。

- ❶ プログラムを選択(ロード)した時、ノブの物理的な向きがプログラム上のパラメーターの設定とは異なる場合があります。この時、ノブを回すとすぐにパラメーターの設定がノブの向きをキャッチし、ノブの動きと一致して変化します。



セレクトター・ボタン

セレクトター・ボタンは複数の選択肢から1つを選択する時に使用します。セレクトター・ボタンの周辺には丸形または三角形のLEDが配置され、現在選択している状態を表示します。ボタンを数回繰り返して押すことで選択肢を循環するように選択できます。



- ☀ (SHIFT) ボタンを押しながら、右の(TYPE) ボタンを除くセレクトター・ボタンを押すと、選択肢を反時計回りに循環して選択できます。

On/Off、ソース・ボタン

(ON/OFF) ボタンはパラメーターやエフェクトなど複数のパラメーターを一括してオンまたはオフにする時に使用します。また、エフェクト・セクションの(ON/OFF) ボタンはソース・セクターとしても機能し、(SHIFT) ボタンを押しながら(ON/OFF) ボタンを押すことでエフェクトのソース(ピアノまたはシンセ)を選択できます。この操作は(SHIFT) ボタンを押さずに(ON/OFF) ボタンをダブルタップすることでも行えます。



シフト・ボタン

ボタンの中には本来の機能とは別に、(SHIFT) ボタンを押しながらそのボタンを押すことで動作するもう一つの機能を割り当てられているものもあります。その「もう一つの」機能名はボタンの下にプリントされています。(SHIFT) ボタンは(UP/DOWN) ボタンと併用してシステムやMIDI、サウンドの各メニューの設定を行う時にも使用します。



- ☀ (SHIFT) ボタンを押しながらノブを回すと、そのパラメーターの設定値を変更することなく、その設定値をディスプレイに表示させることができます。

また、プログラムの保存操作を途中で中止する場合や、システムやMIDIなどのメニューで設定を終えて、元のモードに戻る場合にも(SHIFT) ボタンを押します。

4 接続する



オーディオの接続

ヘッドフォン端子

ヘッドフォンを使用する時に接続します。標準ステレオ・ジャックです。

L/Rアウトプット端子

L/Rアウトプット端子はアンバランス仕様のライン・レベル出力です。アンプやレコーディング機器に接続します。標準ジャックです。

Nord Piano 2はL/Rそれぞれのオーディオ・チャンネルを使用しているステレオ出力の楽器です。本機のサウンドを十分にお楽しみいただけるよう、L/Rアウトプット端子を両方とも使用してステレオ環境でご使用下さい。

オーディオを接続する時の原則：

- 接続をすべて完了してからアンプの電源を入れます。
- 電源を入れる時はアンプの電源を最後に入れます。
- 電源を切る時はアンプの電源を最初に切ります。

△ 大音量でのご使用は、難聴など聴覚に異常を引き起こすことになる場合がありますのでご注意ください。

モニター・イン端子

モニター・イン端子は、mp3プレイヤーやCDプレイヤーからのオーディオ信号をNord Piano 2のヘッドフォン端子に流す時に使用します。CDなどの音楽に合わせてNord Pianoをヘッドフォンでモニターしながら演奏する際に便利です。

❶ モニター・インに入った信号はNord Piano 2のエフェクト・セクションやL/Rアウトプット端子には流れません。

MIDIの接続

MIDIイン

外部機器やMIDIキーボード、コンピュータからNord Piano 2にMIDIデータを受信する時に使用します。

MIDIアウト

Nord Piano 2のキーボードやパネルのMIDIコントロール信号を音源モジュールなどの外部機器やコンピュータへ送信する時に使用します。

USBの接続

USBの接続は、Nord Piano 2とコンピュータを接続してNord Piano 2のOSアップデートやピアノ・サウンドを追加したり入れ替えたりする時に行います。コンピュータはNord Piano 2のOSアップデート時に使用したり、NordSound Managerを使う場合に使用します。

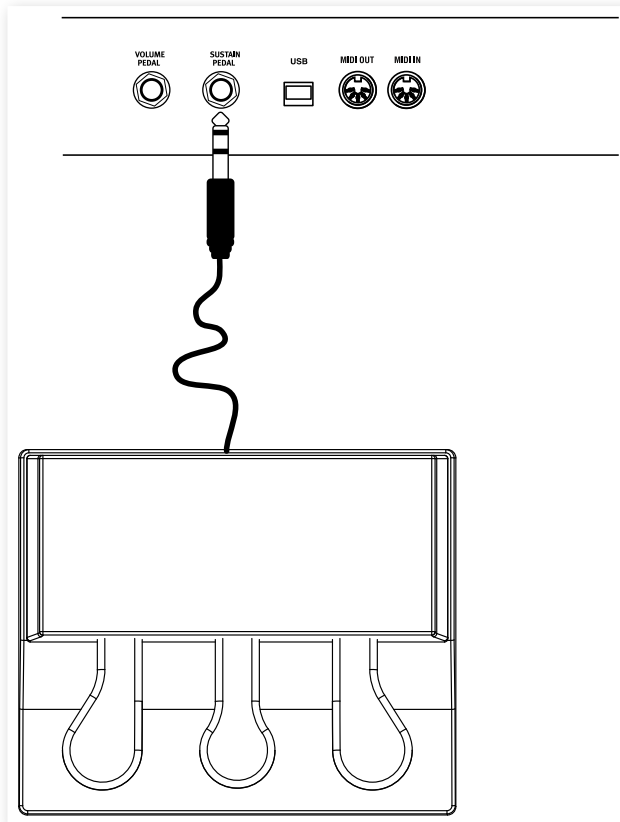
Nord Piano 2ではMIDIデータをUSB端子経由で送受信することが可能です。詳しくは、MIDIの章をご参照下さい。

❶ Microsoft Windowsのコンピュータをご使用の場合は、コンピュータにUSBドライバをインストールする必要があります。USBドライバのインストーラーは、付属のNord DVDまたはNord ウェブサイト (www.nordkeyboards.com)から入手できます。

ペダルの接続

サスティン・ペダル・インプット

Nord Triple Pedalを〔SUSTAIN PEDAL〕端子に接続します。Nord Triple Pedalを使用できない場合は、一般的なサスティン・ペダルを接続することも可能です。



Nord Triple Pedalの標準ステレオ・コネクタをNord Piano 2の〔SUSTAIN PEDAL〕端子に接続します。

Nord Triple Pedalについて

Nord Triple Pedalは3本ペダル仕様です。

サスティン

右側のペダルはサスティン・ペダルです。このペダルを踏んでいる間は、すべての音がペダルから足を離すまで伸びます。また、このペダルを踏むことでペダル・ノイズ機能を使用することができるほか、ペダルを完全に踏み込まないハーフ・ペダリングのテクニクを使うことも可能です。

ソフト

左側のペダルはソフト・ペダルです。いわゆる「ウナ・コルダ(una corda)」です。このペダルを踏むと音量がわずかに下がり、少しやわらかな音色になります。

ソステヌート

中央のペダルはソステヌートです。このペダルを踏むと、特定の鍵盤の音だけサスティンをかけ、その他の音にはサスティンがかからないとすることができます。このペダルを踏んでいる時に演奏した鍵盤の音にだけサスティンがかかります。その他の音はサスティンがかかっていない状態で演奏できます。

その他の機能

中央のペダルには、ペダル・メニューで別の機能を割り当てることも可能で、サンプル・シンセにのみサスティンをかけるようにすること、またはシンセにサスティンをかけると同時にシンセ音源部をキーボードから切り離すことも可能です。この機能を使うと、中央のペダルを踏んでシンセ・サウンドによるコードをサスティンさせ、その間にピアノ・サウンドで通常のサスティン・ペダルを使った演奏をすることができます。この時、シンセ・サウンドはピアノ・サウンドによる演奏と重なることなく、サスティンさせたシンセ・サウンドのみになります。この機能はペダル・メニューで設定します。詳しくは20ページをご参照下さい。

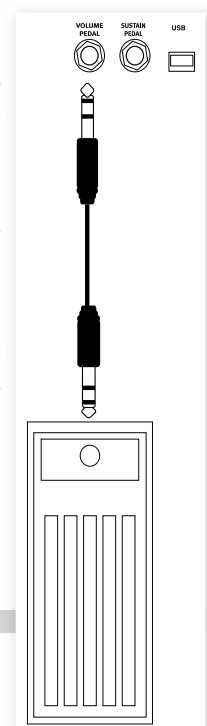
- ❶ Nord Piano Pedalをお持ちでない場合は、市販のサスティン・タイプ、またはフットスイッチタイプのペダルを使用することができます。この場合、Nord Piano 2の動作を最適化するために、ペダル・メニューで設定を行う必要があります。詳しくは、20ページをご参照下さい。

ボリューム・ペダル・インプット

この端子にエクスプレッション・ペダルを接続して、ピアノ、シンセ、またはその両方のボリュームをコントロールすることができます。

ペダルを〔VOLUME PEDAL〕端子に接続する際は、必ずステレオ・ジャック仕様のペダルを使用し、ステレオ端子(チップ/リング/スリーブ)のケーブルを使用します。

市販のエクスプレッション・ペダルは、メーカーごとに特性が異なる場合があります、使用するペダルに合わせた設定をする必要があります。Nord Piano 2では、主なペダル・メーカー(コルグ、ローランド、ヤマハ、Fatar)の特性に合わせたプリセットを内蔵し、設定を簡単に行なえます。この設定はペダル・メニューで行います。詳しくは、20ページをご参照下さい。



譜面立て

Nord Piano 2のリア・パネルには譜面立て(別売オプション)を取り付けるための2つのブラケットがついています。

5 使い始める

Nord Piano 2の各部の機能をご紹介します。Nord Piano 2のフロント・パネルはライブなどのシチュエーションでも使いやすくレイアウトされています。Nord Piano 2の多くの機能をご紹介しますこの短い章をご一読いただき、Nord Piano 2に親しんでいただければ幸いです。

プログラムについて

パネル上のすべてのセッティングはプログラム・メモリーに保存されます。プログラムは、5プログラムが入ったページが24ページあり、さらに2つのバンク(A/B)で合計240個あります。すべてのプログラムはエディットができ、書き替えることも可能です。ファクトリー・プログラム(工場出荷時プログラム)のセットは付属のNord DVDに収録されています。また、Nord ウェブサイトからダウンロードもできます。

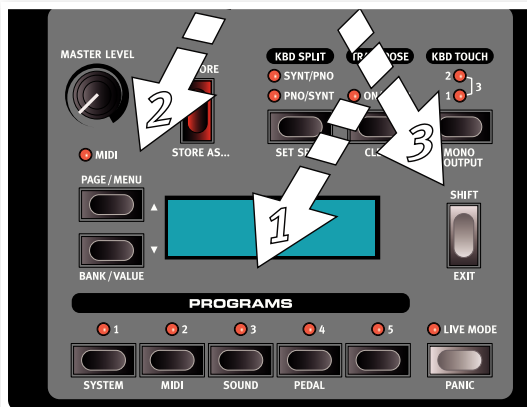
プログラムを選択する

- ① プログラムは、ディスプレイの下にある5つのプログラム・ボタンを押して選択します。
- ② ディスプレイの左にある〔UP/DOWN〕ボタンを繰り返し押してページの切替をします。ページを切り替えると、そのページに入っているプログラムが即座に5つのプログラム・ボタンにロードされます。

各ページ内のファクトリー・プログラムは、下図の要領で構成されています。これで、〔UP/DOWN〕ボタンでページを切り替えるだけで同じタイプのプログラムを簡単に選択することができます：

プログラム	内容
1	エフェクトがかかっていないクリーン・サウンド
2	EQがかかったピアノ・サウンド
3	ピアノが高音域に配置されたスプリット・プログラム
4,5	ピアノとシンセがレイヤーされ、エフェクトがかかったプログラム

☀ (UP)または(DOWN)ボタンを長押しすると、ページをスクロールさせることができます。



- ③ (SHIFT)ボタンを押しながら(UP)または(DOWN)ボタンを押すと、バンクAまたはバンクBに切り替えることができます。

プログラムをエディットする

プログラムのエディットは、ノブを回して音色を調節したり、ボタンを押してセッティングを切り替えるのと同じくらい簡単にできます。ちょっとエディットしてみましょう。

- ① まず、バンクA、ページ01、プログラム1を選択します。すると、ディスプレイの表示は次のようになります：

ピアノ・サウンドのパラメーターをコントロールするノブやボタンは、プログラム/ディスプレイ・エリアのすぐ右側にあります。この例では、グランド・タイプのプログラムが選択されています。

A:01:1
Grand Imperial

別のピアノ・サウンドを選択する

- ② (PIANO TYPE)セレクトター・ボタンを押すたびに6種類あるピアノ・タイプが順次切り替わります。各ピアノ・タイプにはさらにいくつかのピアノ・モデルがあります。
- ③ ピアノ・モデルは、ピアノ・モデルを表示するLEDの下にある〔PIANO MODEL UP/DOWN〕ボタンで切り替えます。モデルを切り替えながら音を出して違いを聴いてみましょう。

ピアノ・モデルは、同一タイプ内で循環して切り替えることができます。

☀ (SHIFT)ボタンを押しながら(MODEL)ボタンを押すと、1オクターブ上または下にトランスポーズできます。



パネル上のパラメーターをエディットすると同時に、ディスプレイに表示されている音色名の後ろにアスタリスク(*印)が表示されます。

A:01:1*
Grand Imperial

このアスタリスクは、現在選択しているプログラムがエディットされていて、まだ保存されていないことを意味しています。この時、プログラムの保存を行わずに別のプログラムを選択すると、エディットした内容が消えてしまい、次に同じ番号のプログラムを選択してもエディットする前の状態になります。

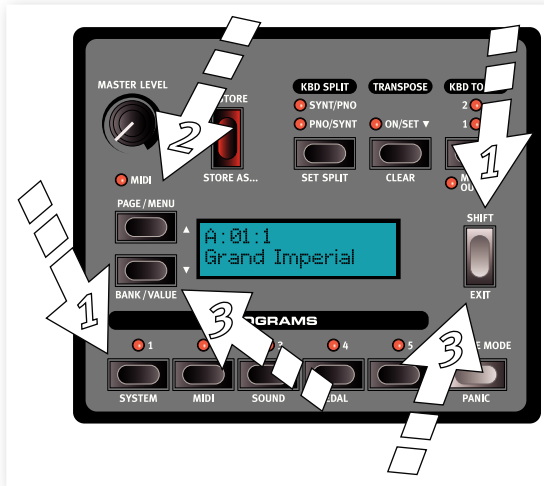
工場出荷時の状態では、バンク A、Bともに同内容のプログラムが保存されています。つまり、どちらかのバンクのプログラムをエディットして上書き保存しても、もう一方のバンクにはファクトリー・プログラムが残っているということになります。

この時、保存先になるプログラム名がディスプレイに表示され、そのプログラムを演奏して音やそのセッティングを確認することができます。これは、消去したくないプログラムに誤って上書き保存してしまうことを防ぐためです。

メモリー・プロテクト

プログラムをエディットして満足の行くサウンドが得られましたら、次の作業はプログラムの保存になりますが、その前にメモリー・プロテクト機能をオフにする必要があります。

- ① (SHIFT) ボタンを押しながら (PROGRAM1/SYSTEM) を押して、システム・メニューに入ります。
- ② (UP/DOWN) ボタンを使ってメモリー・プロテクト・モード (Memory Protect Mode) のページを開きます。このページはシステム・メニューの最初にあります。



- ③ (SHIFT) ボタンを押しながら (DOWN) ボタンを押してメモリー・プロテクトをオフにし、(SHIFT) ボタンをもう一度押してシステム・メニューから抜けます。
- ❶ メモリー・プロテクトの設定は、Nord Piano 2の電源を切っても保存されます。

- ⑤ (STORE) ボタンをもう一度押して保存して良いかどうかを確認します。

これでプログラムが指定したロケーションに保存されます。

- ❶ 保存の操作を途中でキャンセルしたい場合は、バンク、ライブ・モード、プログラムの各ボタン以外のボタン(どれでもOKです)を押します。
- ❷ メモリー・プロテクトがオフの状態でも (STORE) ボタンを2度素早く押す(ダブルタップする)と、プログラムは上書き保存されます。

ライブ・モード

ライブ・モードは、5つの「ライブ・プログラム・メモリー」とも呼びます。(LIVE MODE) ボタンを押すとライブ・モードに入り、パネルのセッティングを変更するとすぐにその変更が保存されます。また、電源を切ったり、別のプログラムを選択してもその変更内容は保存されていますので、次に電源を入れた時やそのライブ・プログラム・メモリーに戻った時にはその変更内容が反映された状態で呼び出されます。



ライブ・モードに入っている状態で、ライブ・メモリーのプログラムを通常のプログラムに保存したい場合は、本ページの「プログラムを保存する」の手順で保存できます。また、通常のプログラムを5つのライブ・プログラム・メモリーのどれかに保存することも可能です。その際には通常のプログラムのセッティングが、選択したライブ・メモリーに上書き保存されます。

プログラムを保存する

プログラムを保存してみましょう。

- ① (STORE) ボタンを一回押します。
この時、(STORE) ボタンのLEDが点滅し、メモリー・ロケーション(番号)がディスプレイに表示されます。
- ② エディットしたプログラムを元のプログラム番号に上書きしたい場合は (STORE) ボタンをもう一度押します。
- ③ エディットしたプログラムを別のロケーションに保存したい場合は、ページ・ボタンとプログラム・ボタンを使用して保存したいロケーションを選択します。
- ④ エディットしたプログラムを別のバンクに保存したい場合は、(UP/DOWN) ボタンを押して次の(または前の)バンクを選択します。

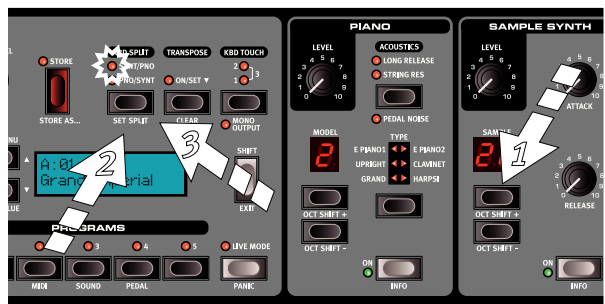
サンプル・シンセ・サウンドを選択する

- ① サンプル・シンセ・セクションの (ON) ボタンを押します。プログラムが「A:01:01」の場合、グランド・ピアノにストリングスがレイヤーされたサウンドになります。この時、サンプル・シンセの名前がディスプレイに表示されます。
- ② シンセ・セクションの (UP) または (DOWN) ボタンを数回押して、ファクトリー・サウンドを聴いてみましょう。
- ③ サンプル・シンセの音量は、シンセ・セクションの (LEVEL) ノブで調整できます。



キーボード・スプリット

- ① サンプル・ボタンでベースのサンプルを選択します。ベース・サンプルは、サンプル・メモリーの最後部にあります。
- ② [KBD SPLIT] ボタンを押してキーボード・スプリットをオンにします。



これでひとつの音色を鍵盤上の左側で、もうひとつの音色を右側で演奏できます。

- ③ ピアノ・サウンドを鍵盤上の左側から右側へ入れ替えるには、[KBD SPLIT] ボタンをもう一度押します。この時、スプリットの状態がLEDに表示されます。

スプリットの設定は、プログラムごとにメモリーできます。方法などの詳細は、15ページをご参照下さい。

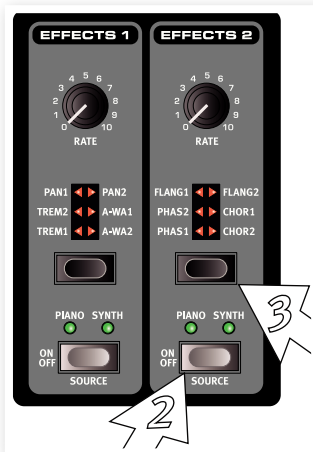
トランスポーズ

[TRANSCOPE] ボタンを押しながら [UP/DOWN] ボタンを操作して Nord Piano 2 を半音単位でトランスポーズ (移調) させることができます。トランスポーズできる範囲は±6半音までです。トランスポーズの状態をプログラムに保存させることも可能です。

- ❶ ピアノ・サウンドは、トランスポーズの設定によっては鍵盤上の最低/最高音域で発音できない音域が発生する場合限度があります。詳しくは15ページをご覧ください。

エフェクトをかける

- ① プログラムを選択します。例として A:01:1 を選択します (Aバンクの先頭のプログラムです)。
- ② [SOURCE] ボタンを1回押し、EFFECT2をオンにします (ONのLEDが点灯します)。
- ③ EFFECT2のセレクトター・ボタンを繰り返し押します。



セレクトター・ボタンを押すたびに、エフェクト・タイプのLEDが時計回りに巡り回して点灯し、エフェクトの種類が切り替わります。

エフェクトのタイプによっては、エフェクトの深さが3段階に分かれているものもあります。例えば「FLANG1」は最も軽いタイプのフランジャーで、「FLANG2」はもう少し深いタイプです。そして「FLANG1」と「FLANG2」の両方のLEDが点灯している時は最も深いタイプのフランジャーが選択された状態になります。

- ☀ [SOURCE] ボタンをダブルタップすると、エフェクトがかかるソース (ピアノまたはシンセ) が切り替わります。

- ④ [RATE] ノブを回してみます。選択したエフェクトのうねりの周期が変化します。
- ⑤ [SHIFT] ボタンを押しながらエフェクト・セレクトター・ボタンを繰り返し押し試してみます。この操作で、エフェクト・タイプが切り替わる方向が通常の逆の反時計回りになります。
- ⑥ エフェクトをオフにします。エフェクトがオフの状態でもエフェクト・セレクトター・ボタンでエフェクト・タイプを切り替えることができます。この時、エフェクトはオフになっていますから音色に変化は起きません。

- ☀ この方法は、演奏中の音色に影響を与えることなくエフェクト・タイプを選んでおきたい時に便利です。

ディレイを使う

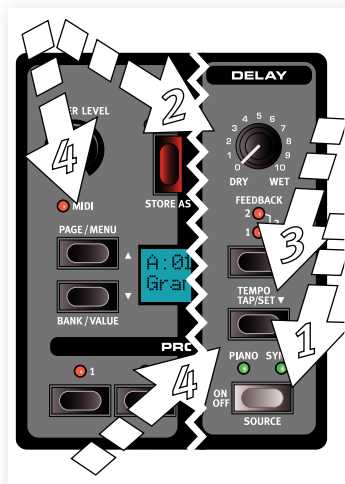
- ① ディレイ・セクションにある [SOURCE] ボタンを押してディレイをオンにし、ディレイがかかっているソースが現在演奏しているインストゥルメント (ピアノまたはシンセ) かどうかを確認します。

- ☀ [SHIFT] ボタンを押しながら [SOURCE] ボタンをもう一度押すと、もう一方のインストゥルメントにディレイがかかります。

- ② 原音 (ドライ) とエフェクト音 (ウェット) のバランスを [DELAY] ノブで調節します。

- ③ [TEMPO/TAP SET] ボタンを繰り返し押すと、押したタイミングに合ったディレイ・タイムに変化します。

- ④ [TEMPO] ボタンを押しながら、ディスプレイの左側にある [UP/DOWN] ボタンを押すことでディレイ・タイムの変更ができます。この時、ディスプレイにディレイ・タイムがミリ秒単位 (1/1000秒単位) で表示されます。



アコースティックス

- ① サンプル・シンセをオフにし、ピアノ・セクションの(PIANO TYPE)セレクターを押してグランド・ピアノを選択します。
- ② スtring・レゾナンス機能がオフになっている場合は、[ACOUSTICS]ボタンを押してオンにします。
- ③ 左手でコードを弾き、そのままの状態が音が減衰していく中で右手でスタカートで何音が弾いてみます。すると左手で押さえているコードの音の一部が右手で弾いた音に反応して共鳴しているのが聴き取れます。

String・レゾナンスはピアノの弦が他の鍵盤(弦)の音に反応してその基音または倍音が共鳴する音響的な現象のことです。

この機能がオンの時は、演奏中のすべての音が互いに反応して共鳴し合い、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの中で実際に起きている現象を再現することができます。

- ④ [SHIFT]ボタンを押しながら[ACOUSTICS]ボタンを押すとペダル・ノイズ機能がオンになります。
- ⑤ 鍵盤では何も弾かずにNord Triple Pedalを強さを変えながら踏んでみましょう。ペダル・ノイズの音が踏む強さに応じて変化するの聴き取れます。

ペダル・ノイズ機能をオンにすることで、アコースティック・ピアノやエレクトリック・ピアノのサスティン・ペダルから発生する機械的ノイズを再現することができます。Nord Triple Pedalはペダルを踏む強さによってノイズの音量をコントロールできるダイナミック式のペダルです。

キーボード・タッチ・セッティング

Nord Piano 2には3種類のキーボード・タッチ・セッティングがあります。

Nord Piano 2のピアノの中にはダイナミック・レンジが非常に広いものもあります。それは、サンプリングの元となったオリジナルのピアノのレンジの広さを可能な限り忠実に再現した結果、そのようになっています。

一方で、ベロシティに対してより簡単にピアノ・サウンドが欲しい時もあります。そういう場合に便利な機能が、このキーボード・タッチです。

LEDが点灯していない時は、デフォルトのセッティングの状態になっています。最大ベロシティを軽めのタッチで出したい場合には、[KBD TOUCH]ボタンを押します。すると「1」のLEDが点灯します。もっと軽いタッチで最大ベロシティを出したい場合は、[KBD TOUCH]をもう一度押して「2」のLEDを点灯させます。さらにその上がお望みでしたら、ボタンをもう一度押して「1」と「2」の両方が点灯している状態にしてみましょう。非常に軽いタッチでも最大ベロシティに達したサウンドで演奏できます。

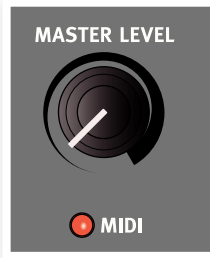
さて、この「クイック・ツアー」は終点に着きました。ここまででNord Piano 2のパネル上にあるほとんどの機能の使い方をお分かりいただけたかと思います。次のページからはリファレンス編がスタートし、その次のCHAPTER(21ページ)からはNord Sound Managerアプリケーションのご紹介をします。

6 Nord Piano 2 リファレンス

マスター・レベル

マスター・レベル・ノブでNord Piano 2のL/Rアウトとヘッドフォン・アウトの音量を調節します。

- ① マスター・レベルの設定は、プログラムに保存されません。



MIDIインジケーター

マスター・レベルの下にあるLEDはMIDIインジケーターで、MIDIデータが入力された時に点滅します。短い点滅はNord Piano 2に入力されたすべてのMIDIデータで、長い点滅はすべてのMIDIデータからNord Piano 2が実際に受信(Nord Piano 2のMIDIチャンネルと一致した等)し、動作につながったMIDIデータです。

プログラム・セクション



このセクションではバンクやページ、プログラムを選択したり、プログラムの保存操作を行います。また、システムやMIDI、サウンドやペダルといった各メニューの設定もこのセクションで行います。

UP/DOWNボタン

ディスプレイの左側にあるのが[UP/DOWN]ボタンで、いくつかの役割があります。通常は繰り返し押すことで各バンクに24あるページを1つずつ切り替えます。この時、ディスプレイにはバンク、ページ、プログラム・ナンバー、プログラム名が表示されます。

バンク・セレクト

[SHIFT]ボタンを押しながら[UP/DOWN]を押してバンクA、バンクBの切り替えをします。

メニュー

システム、MIDI、サウンド、ペダルの各メニューに入っている場合は、各メニュー内の機能を選択する時にも、この[UP/DOWN]ボタンを使用し、[SHIFT]ボタンを押しながら[UP/DOWN]ボタンを使用して各機能の設定を変更できます。詳しくは19ページをご参照下さい。

ディスプレイ

ディスプレイには現在選択しているプログラムのナンバーと名前が表示されます。プログラムをエディットすると、プログラム・ナンバーの隣(ディスプレイの上の行)にアスタリスク(※印)が表示されます。

システムやMIDIなどのメニューに入っている時は、そのメニューの機能名がディスプレイに表示されます。

フロント・パネルのノブなどを操作すると、音色が変化するとともにそのパラメーターの値がディスプレイに表示されます。また、[SHIFT]ボタンを押しながらノブを回すと音色を変化させることなく、パラメーターの設定値を確認することができます。

ストア・ボタン

赤い(STORE)ボタンはプログラムを保存する時に使用します。



- ① [STORE]ボタンを一回押すとLEDが点滅を始めます。
この時、ディスプレイはプログラムの保存先を確認する画面になります。最初は元のプログラムと同じロケーションが表示されます。
- ② [UP/DOWN]ボタンとプログラム1~5のボタンを使って新しいプログラムの保存先を指定します。元のプログラムに上書き保存をする場合は、この操作は不要です。

☀ 保存先を指定すると、そのプログラム名がディスプレイに表示され、Nord Piano 2の鍵盤でその音を確認することができます。これは上書きしたくないプログラムを誤って消去してしまうことを防ぐためです。

- ③ [STORE]ボタンをもう一回押して保存作業は完了します。
[STORE]ボタンをもう一回押す前に保存を中止したい場合は、[UP/DOWN]ボタン、プログラム・ボタン以外のフロント・パネルにあるボタン(どれでも構いません)を押すと保存動作を中止できます。

別名で保存(Save As...)

エディットした新しいプログラムを別名で保存することも可能です。

- ① [SHIFT]ボタンを押しながら[STORE]ボタンを押します。
この時、ディスプレイには「Set Name」と表示され、現在のプログラム名がその下の行に表示されます。
- ② [UP/DOWN]ボタンを使って文字を入れたい位置にカーソルを移動させ、[SHIFT]ボタンを押しながら[UP/DOWN]ボタンを押して文字を選択します。
ディスプレイには11文字まで表示されます。
- ③ [STORE]ボタンをもう一回押して保存を完了させます。

この操作を中止したい場合は[SHIFT]ボタンを押します。

- ① 保存操作を行う前に、必ずメモリー・プロテクトがオフになっていることをご確認ください。確認方法や設定などの詳細は11ページをご覧ください。

プログラム1~5ボタン



1ページ内のプログラムまたはライブ・モードのライブ・プログラムは、プログラム・ボタン(1~5)で選択できます。

[SHIFT] ボタンを押しながらプログラム・ボタンの1~4を押すと、各メニューに入ります。詳しくは19ページをご参照下さい。

シフト・ボタン

フロント・パネル上にあるボタンのうち、いくつかは本来の機能とは異なる別の機能が割り当てられています。その機能名はボタンの下にプリントされています。この機能を使用する時は [SHIFT] ボタンを押しながら目的のボタンを押します。



ライブ・モード

[LIVE MODE] ボタンを押すと、パネル上で行ったエディットは、すべてその場で継続的にその時選択している「ライブ・プログラム」に保存されます。電源を切ったり、別のプログラムに切り替えても、ライブ・メモリーの内容はキープされますので、次に電源を入れた時や、ライブ・メモリーに戻った時には電源を切った時や、ライブ・メモリーから離れた時点の状態を保っています。ライブ・モードには5つのライブ・プログラムをストックすることが可能で、プログラム・ボタンで選択できます。

☼ *ライブ・メモリーを選択している状態で、ライブ・プログラムを通常のプログラムとして保存したい場合は、通常の保存操作で行えます。また逆に、通常のプログラムをライブ・プログラムとして保存することも可能ですが、その際は保存先となるライブ・メモリーを上書き保存します。*

パニック・ボタン

MIDIを使って演奏している時やライブの時にNord Piano 2の音が止まらなくなってしまったり、逆に音が出なくなってしまう場合には、[SHIFT] ボタンを押しながら[LIVE MODE] ボタンを押すことで、止まらなくなってしまった音を強制的に止めたり、すべてのパフォーマンス・コントローラーをリセットすることができます。

キーボード・スプリット・ボタン

Nord Piano 2の鍵盤を2つの領域に分割する場合に、[KBD SPLIT] ボタンを押します。

SYNT/PNOインジケーター

キーボード・スプリットがオンになっている、シンセが鍵盤の左側、ピアノが右側に割り当てられている場合、このLEDが点灯します。

PNO/SYNTインジケーター

キーボード・スプリットがオンになっている、ピアノが鍵盤の左側、シンセが右側に割り当てられている場合、このLEDが点灯します。

☼ *ピアノとシンセをレイヤーにしたい場合は、両方のインストゥルメントの[ON/OFF] ボタンをオンにします。*

スプリット・ポイントを設定する

[SHIFT] ボタンを押しながら[KBD SPLIT] ボタンを押すと、現在設定されているスプリット・ポイント(鍵盤を分割するポイント)が表示され、任意の鍵盤を弾くと新しいスプリット・ポイントを設定できます。

Use keyboard
Split point: C3

この時、弾いた鍵盤がアッパー・エリア(鍵盤上の右側の領域)の最低音になります。

Keyboard Split
Position: C4

トランスポーズ

トランスポーズ機能はNord Piano 2のピッチを半音単位でシフト(移調)できるものです。黒鍵の多い調の曲を八調で弾きたい場合などに便利です。この設定はプログラムごとにメモリーできます。



- ① [TRANSPOSE] ボタンを長押しします。
- ② [UP/DOWN] ボタンでトランスポーズしたいシフト量を指定します。
トランスポーズのシフト量はディスプレイに表示されます。また、トランスポーズが設定されている時は、LEDが点灯します。
- ③ [TRANSPOSE] ボタンをもう一度押すとLEDが消灯しますが、トランスポーズの状態はキープされます。

- ❶ トランスポーズの設定はMIDI出力にも反映されます。
- ❷ システム・メニューにグローバルトランスポーズを設定できるページがあります。これを使用するとすべてのプログラムがその設定に従いますが、MIDI出力には反映されません。詳しくは14ページをご参照下さい。
- ⚠ ピアノ・サウンドには発音域の限界があります。そのため、トランスポーズやグローバルトランスポーズの設定によってはNord Piano 2の鍵盤の最高音部で無音になることがありますのでご注意ください。

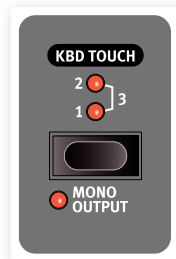
トランスポーズを解除する

[SHIFT] ボタンを押しながら[TRANSPOSE] ボタンを押すことで、トランスポーズを解除できます。

キーボード・タッチを設定する

キーボード・タッチ機能を使用することにより、通常とは異なるペロシティ・レスポンス・カーブを使用できます。このことで、弱いタッチでも強いペロシティのサウンドを演奏することができます。

[KBD TOUCH] LEDがすべて消えている時はデフォルトのレスポンス・カーブが使われている時です。1が点灯している時はデフォルトよりもやや弱いタッチでも最高ペロシティに到達します。以降、2、3の順でより弱いタッチでも最高ペロシティに達しやすいレスポンス・カーブになります。



モノ・アウトプット

[SHIFT] ボタンを押しながら[KBD TOUCH] ボタンを押すと、ステレオのサウンドがモノラルになります。この時、L/Rアウトプットのどちらの端子でも同じサウンドになります。

- ❶ この機能はグローバル設定ですので、すべてのプログラムに適用されます。なお、この機能は本機の電源を切るとリセットされます。

ピアノ・セクション

Nord Piano 2のピアノ・セクションは6つのタイプで構成され、各タイプにはそれぞれいくつかのインストゥルメント・モデルがあります。また、Nord Sound Managerアプリケーションを使ってコンピュータからUSB経由で新しいピアノ・サウンドを追加することもできます(詳しくは21ページの「Nord Sound Manager」をご参照下さい)。

工場出荷時の本機には、私たちが膨大な時間を掛けて制作しましたアコースティック・ピアノ、エレクトリック・ピアノ、ハーブシコードの素晴らしいコレクションが入っています。サウンドがリアルなことはもとより各楽器のレスポンスもそのままに、微妙なニュアンスも逃すことなく表現できるよう、ペロシティ別にサウンドをきめ細かく収録しました。それがNord Piano 2のサウンドがリアルなだけでなく、弾き心地も優れていると言える理由でしょう。

レベル・ノブ

(LEVEL)ノブで、選択したピアノ・サウンドの音量を設定できます。ここでの設定は、プログラムの一部として保存できます。

アコースティックス

アコースティックス機能を使って、サウンドにストリング・レゾナンスとペダル・ノイズをプラスできます。

ストリング・レゾナンス

ストリング・レゾナンスはピアノの弦や弦の一部が他の鍵盤(弦)の音に反応してその基音または倍音が共鳴する音響現象のことです。

この機能がオンの時は、演奏中のすべての音が互いに反応して共鳴し合い、グランド・ピアノやアップライト・ピアノの中で実際に起きている現象を再現することができます。

また、サスティン・ペダルを踏んだまま何音が演奏すると、すべての弦の共鳴が聴き取れます。

(STRING RESONANCE) ボタンを押してストリング・レゾナンス機能をオンにします。オンになるとLEDが点灯します。オフにしたい時はもう一度このボタンを押します。

- ① ストリング・レゾナンス機能に対応していないピアノ(スモール・サイズのグランド、アップライト・ピアノなど)を選択した場合、この機能は無効となります。

ロング・リリース

ロング・リリース機能をオンにすると、アコースティック/エレクトリック・ピアノのリリースがわずかに長くなります。これは、アコースティック/エレクトロメカニカル・キーボード(アコースティック・ピアノやエレクトリック・ピアノなど)のダンパー・テンションを調整した時に起こることに相当します。

- ① ロング・リリース機能に対応していないピアノを選択した場合、この機能は無効となります。この機能は、V5.3以降のピアノ・サウンドで対応しています。



ペダル・ノイズ

アコースティックスの第3の機能は、ペダル・ノイズです。この機能をオンにしてサスティン・ペダルを踏むと、アコースティック/エレクトリック・ピアノのペダル機構が発するノイズを再現します。Nord Triple Pedalはダイナミック式のペダルですので、ノイズ・レベルをペダルを踏む力の入れ具合でコントロールすることができます。

(SHIFT) ボタンを押しながら (STRING RESONANCE) ボタンを押すことで、この機能のオン/オフ切替ができます。

- ① ペダル・ノイズ機能に対応していないピアノを選択した場合は、この機能は無効となります。

ピアノ・タイプ

(PIANO TYPE) セレクター・ボタンを使って、ピアノ・タイプを選択します。各タイプにはいくつかのピアノ・モデルが入っています。(PIANO TYPE) セレクター・ボタンを繰り返し押すとピアノ・タイプが順次切り替わります。

タイプ	内容
Grand	アコースティック/エレクトリック・グランド・ピアノ
Upright	アップライト・ピアノ
E Piano 1	エレクトリック・ピアノ(タイン・タイプ)
E Piano 2	エレクトリック・ピアノ(リード・タイプ)
Clavinet	クラビネット
Harpsi	ハーブシコード

- ① ピانو・タイプの変更(タイプがGrandに設定されているピアノをUprightに変更する等)はできません。

ピアノ・モデル

各ピアノ・タイプにはNord Piano 2のメモリー使用状況に応じていくつかのピアノ・モデルが入っています。

- (MODEL) ボタンを繰り返し押してモデルを選択します。ボタンの上にあるLEDに選択したモデルの番号が表示され、ディスプレイの2行目にはそのモデル名が表示されます。
- (SHIFT) ボタンを押しながら (TYPE) ボタンを押すと、現在選択しているピアノ・モデルの名前とバージョン・ナンバーがディスプレイに表示されます。

- ① ピانو・モデルのLEDにハイフンが点滅している時は、現在選択しているプログラムに必要なピアノ・サウンドのデータがNord Piano 2のフラッシュ・メモリーに入っていない状態を示しています。この場合、別のプログラムを選択するか、欠けているピアノ・サウンドをNord Piano 2に追加します。

- △ ピانو・サウンドのデータが何らかの理由で破損している場合、Nord Piano 2の電源を入れた時にその旨のメッセージがディスプレイに表示され、その破損したデータを使用しているプログラムを選択した時にピアノ・タイプとピアノ・モデルのLEDが点滅します。この場合、Nord Piano 2とNord Sound Managerを接続して破損しているデータを取り除き、改めてピアノ・サウンドのデータを入れ直して下さい。

クラビネット

オリジナルのクラビネットD6では、ピックアップの組み合わせを選択できましたが、Nord Piano 2でもピアノ・タイプでクラビネットを選択し、(MODEL) ボタンを押すことで同様に行えます。

クラビネット・ピックアップ・タイプ

Clav Model A	「ネック」側のピックアップのみを使用した、ソフトなサウンド。
Clav Model B	「ブリッジ」側のピックアップのみを使用した、ブライタなサウンド。
Clav Model C	両方のピックアップを同位相で使用したパワフルなサウンド。
Clav Model D	両方のピックアップを逆相で使用したサウンドです。基音成分の多くが打ち消された、繊細なサウンド。

ピアノ・オクターブ・シフト

{SHIFT} ボタンを押しながら {MODEL} ボタンを押すことで、ピアノ・サウンドをオクターブ単位でトランスポーズできます。

ONボタン

{ON} ボタンを押して、ピアノ・セクションのオン/オフ切替をします。

インフォ

{SHIFT} ボタンを押しながら {ON} ボタンを押すと、現在選択しているピアノ・モデル名がディスプレイに表示されます。

サンプル・シンセ

サンプル・シンセ・セクションは、Nord Sample Libraryの膨大なサンプルを使用できるインストゥルメント・セクションです。Nord Piano 2には、工場出荷時の状態で多くのサンプルを内蔵しています。付属DVDには、さらに多くのサンプルを収録しています。サンプルはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)からも入手できます。



サンプルは、Nord Sound Managerを使用してすべて入れ替えることが可能です。

レベル・ノブ

{LEVEL} ノブでサンプル・シンセ・セクションの音量を設定できます。

アタック・ノブ

打鍵と同時にサンプル・シンセの音が出るとは限りません。{ATTACK} ノブで音を徐々に出てくるようにすることも可能だからです。このノブを時計回りに回していくと、音が立ち上がるスピードが徐々に遅くなります。

{ATTACK} ノブが最小値の場合、サウンドはすぐに立ち上がります。逆に最大値の場合は、サウンドの音量が徐々に増え、最大音量に達するまでに45秒かかります。

- ① サンプルによっては最初からアタックの遅いものもあり、その場合このノブでアタックを速くすることはできません。

リリース・ノブ

アタックと同様、鍵盤から手を離しても、音が即座に止まるとは限りません。{RELEASE} ノブは、鍵盤から手を離れた後に、音量が徐々に下がって音が完全に鳴り止むまでの時間を設定する時に使用します。このノブを右へ回すほど、音が鳴り止むまでの時間が長くなります。

{RELEASE} ノブを左いっぱいに戻した場合、サンプル自体のリリース・タイムそのままの状態になります。また、ノブが右いっぱいに戻した場合は、音が完全に鳴り止むまで45秒かかります。

ONボタン

{ON} ボタンを押して、サンプル・シンセ・セクションのオン/オフ切替をします。

インフォ

{SHIFT} ボタンを押しながら {ON} ボタンを押すと、現在選択しているサンプル名がディスプレイに表示されます。

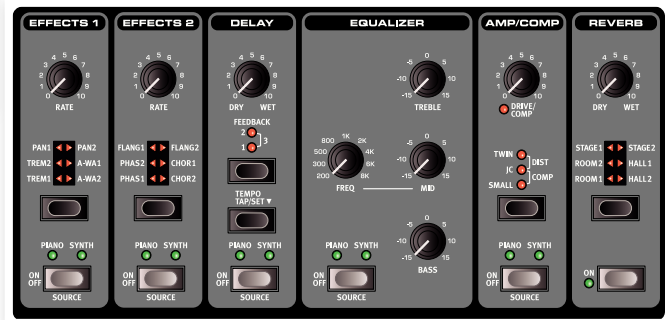
サンプルを選択する

サンプル・シンセ・セクションの{UP/DOWN} ボタンを繰り返し押すと、サンプルを選択できます。この時、サンプルの番号がLEDに表示され、サンプル名がディスプレイに表示されます。

サンプル・オクターブ・シフト

{SHIFT} ボタンを押しながら、サンプル・シンセ・セクションの{UP/DOWN} ボタンを押すと、サンプル・シンセ・サウンドをオクターブ単位でトランスポーズできます。

エフェクト・セクション



エフェクト・セクションでNord Piano 2のピアノ/サンプル・サウンドをさまざまに加工することが可能です。エフェクト・セクションの設定はプログラムごとに保存できます。エフェクトには、モノラル・イン/アウトのもの、ステレオ・イン/アウトのものがあります。これは各エフェクトの紹介ページでご説明します。

リバーブを除く各エフェクトには{SOURCE} ボタンがあります。これは、そのエフェクトをピアノまたはシンセのどちらに使用するかを選択する時に使用します。{SOURCE} ボタンをダブルタップすると、ピアノまたはシンセに切り替わります。また、エフェクトがオンになっている時、ピアノまたはシンセのLEDが点灯します。

{EFFECT SELECTOR} ボタンを繰り返し押すとエフェクト・タイプやエフェクトの深さが巡回して切り替わります。

- ☀ {SHIFT} ボタンを押しながら {EFFECT SELECTOR} ボタンを押すと、エフェクト・タイプなどの巡回する向きが通常の逆の反時計回りになります。

- ☀ エフェクトがオフの時でも {EFFECT SELECTOR} ボタンでエフェクト・タイプなどを切り替えることができます。演奏中のサウンドを変化させることなくエフェクトの設定を変えたい時に便利です。

{RATE} ノブを回すとエフェクトのうねりの周期が変化します。

- ① ディスプレイでは周期が数値で表示されます。

エフェクト1

エフェクト1には次の3種類のエフェクトがあります：

トレモロ、オート・パン、2種類のワウ

トレモロとオート・パンは3段階のデプス(深さ)切替があります。Pan1が最も穏やかなタイプ、以降、Pan2、Pan3(Pan1とPan2のLED点灯時)になるに従って劇的な変化になります。

トレモロは、音量が連続的に変化するエフェクトで、エレクトリックピアノによく使われます。トレモロ・エフェクトはステレオ・イン/アウトです。

(RATE)の可変レンジ：0~10.5Hz

パンは、左右の定位が連続的に変化するエフェクトです。このエフェクトはステレオ・イン/アウトです。

(RATE)の可変レンジ：0~10.5Hz

A-Waはワウ・エフェクトで、信号の音量変化に応じてローパス・フィルターのカットオフ周波数が変化するものです。つまり、鍵盤を演奏するタッチでワウ効果をコントロールできるということです。(RATE)ノブでフィルターのカットオフ周波数が変化するスピードを調節できます。

A-Wa1はメロウなサウンドで、A-Wa2はワウの動きがやや素早く、ブライトで明瞭なキャラクターです。

ワウ・エフェクトはステレオ・イン/アウトです。

エフェクト2

エフェクト2には次の3種類のモジュレーション・エフェクトが入っています：

フェイザー、フランジャー、コーラス

各エフェクトともエフェクト1のトレモロやパンと同じ要領による3段階のデプスがあります。(RATE)ノブでエフェクトのうねりの周期をコントロールできます。

フランジャーは、特徴的なコム・フィルター・エフェクトです。このエフェクトは、ステレオ・イン/アウトです。

(RATE)の可変レンジ：0~10.5Hz

フェイザーは音の位相が連続的に変化するエフェクトで、エレクトリックピアノによく使われます。フェイザーは、ステレオ・イン/アウトです。

(RATE)の可変レンジ：0~10.5Hz

コーラスはピッチがわずかにズレた音を複数同時に鳴らした音をシミュレートしたエフェクトです。コーラスはステレオ・イン/アウトです。

(RATE)の可変レンジ：0~2.7Hz

ディレイ

ディレイは、いわゆるエコーがかかるエフェクトです。ディレイ・タイムは20~750ミリ秒(mSec)です。ディレイ・エフェクトは、ステレオ・イン/アウトです。

ドライ/ウェット

(DRY/WET)ノブでエフェクトのかかっている原音(ドライ)とエフェクト音(ウェット)のバランスを調節します。

フィードバック

フィードバックは、ディレイの繰り返し量のことです。このディレイ・エフェクトには4段階の設定があり、LEDで表示します。(FEEDBACK)ボタンを押して設定を切り替えます。

(TEMPO TAP/SET)ボタン

(TEMPO TAP/SET)をタップすることで、ディレイ・タイムの設定を行えます。また、(TAP/SET)ボタンを押しながらディスプレイの左にある(UP/DOWN)ボタンを押すことでもディレイ・タイムの設定ができます。

※ サウンド・メニューのディレイ・モードが「Analog」の場合、(TAP/SET)ボタンを押しながら(UP/DOWN)ボタンでディレイ・タイムを変更すると、その間のディレイ音のピッチが変化します。一方、(TEMPO TAP/SET)ボタンをタップしてディレイ・タイムを設定する場合は、ディレイ音のピッチは変化しません。

イコライザー

トレブル(4kHz)、ベース(100Hz)、中心周波数可変式のミッド(200Hz~8kHz)の3バンド・イコライザーです。各バンドとも±15dBの範囲で調節できます。イコライザーは、ステレオ・イン/アウトです。

アンプ/コンプレッサー

このセクションにはスピーカー/アンプ・エミュレーションとコンプレッサーが入っています。

Small、JC、Twinの3種類のキャラクターが異なるアンプとスピーカー・キャビネットのエミュレーションです。**Dist**はスピーカー・エミュレーションを使用しないチューブ・ディストーション・エフェクトです。(SPEAKER/COMP)ノブを回してドライブ(歪み具合)を調節できます。

Small、JC、Twinはモノラル・イン/アウトで、Distはステレオ・イン/アウトです。

コンプレッサーは、音量の小さい音を大きくし、音量の大きい音を抑え、ダイナミクスを均一にするエフェクトです。タイトでパンチのサウンドにすることができ、ライブ・ミックスなどのシチュエーションでミックスしやすいサウンドになります。コンプレッサーは、ステレオ・イン/アウトです。

コンプレッサーがオンの時、(DRIVE/COMP)ノブでコンプレッション量を調節できます。

リバーブ

リバーブ・セクションでは様々な音響的環境で発生する自然な残響音をシミュレートします。このセクションでは残響の長さや密度が異なる6タイプから選択でき、選択したタイプはLEDに表示されます。

STAGE1はソフトなリバーブ、STAGE2はブライトなバージョン、等々です。リバーブはステレオ・イン/アウトです。

(DRY/WET)ノブで原音(ドライ)とリバーブ音(ウェット)のバランスを調節します。

7 メニュー

システム、MIDI、サウンド、ペダルの各メニューでの設定は、設定すると同時にプログラムに関係なくグローバルに反映され、その設定が変更されるまでその状態を記憶します。各メニューへは〔SHIFT〕ボタンを押しながらシステム、MIDI、サウンド、ペダルのいずれかのボタン（プログラム・ボタン1～4）を押して入ります。メニュー内の機能の選択は〔UP/DOWN〕で行い、設定の変更は〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔UP/DOWN〕を押します。また、メニューから抜けるには〔SHIFT/EXIT〕ボタンを押します。

❶ MIDIローカル・オン/オフの設定だけは例外的に電源を切る時点で自動保存をしません。Nord Piano 2は電源投入時に必ずローカル・オンになります。

システム・メニュー

メモリー・プロテクト

工場出荷時にはオンの設定になっていますので、プログラムをエディットして保存したい場合にオフに切り替えます。なお、システム、MIDI、サウンドの各メニューの設定やライブ・メモリーは、メモリー・プロテクトの設定に関わらず自動的に保存されます。

設定レンジ：オン（デフォルト（初期設定値））、オフ

ファイン・チューン

Nord Piano 2の調律（チューニング）を微調整します。

設定レンジ：±50セント（デフォルト＝0）

グローバル・トランスポーズ

プログラムに関係なくNord Piano 2全体のトランスポーズを半音単位で行います。プログラムごとに設定できるトランスポーズを使用した場合、ここでの設定値にプラスされて動作します。

設定レンジ：±6半音（デフォルト＝0）

MIDIメニュー

MIDIチャンネル

Nord Piano 2の送受信MIDIチャンネルを設定します。USB端子を使ってMIDIメッセージの送受信を行う場合は、USB1～USB16を使用します。

設定レンジ：1～16、USB1～USB16、オフ（デフォルト＝USB1）

ローカル・コントロール

Nord Piano 2の鍵盤とフロント・パネルをNord Piano 2のプログラムに使用するか、MIDIノート・データやコントロール・メッセージのみを送出するかをここで設定します。ローカル・オンは通常のモードです。ローカル・オフモードでは、鍵盤とフロント・パネルはMIDIメッセージのみを送出することになり、Nord Piano 2の内部音源を直接コントロールしません。

設定レンジ：オン（デフォルト）、オフ

❶ 電源投入時には必ずオンになります。

コントロール・チェンジ・モード

フロント・パネルのノブやボタンからMIDIコントロール・メッセージを送信するかどうか、または受信するかどうかを設定します。送受信する、受信のみ、送信のみ、送受信しない、から選択できます。

設定レンジ：Send/Recv（デフォルト）、Receive、Send、Off

プログラム・チェンジ・モード

プログラム・チェンジ・メッセージの送受信に関する設定を行います。

設定レンジ：Send/Recv（デフォルト）、Receive、Send、Off

センドCC（コントロール・チェンジ）

現在選択しているプログラムのパラメーター・データのすべてをMIDIコントロール・チェンジ・メッセージとしてダンプ送信する時に使用します。〔STORE〕ボタンを押すとダンプ送信が始まります。

ダンプ・プログラム（One、All）

現在選択しているプログラム、またはNord Piano 2に保存されている全プログラムのMIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンプを行う際に使用する機能です。〔STORE〕ボタンを押すと送信が開始されます。

システム・エクスクルーシブ・ダンプの受信手順につきましては、32ページのMIDIチャプターをご覧ください。

サウンド・メニュー

ピアノ・ペダル・ノイズ・レベル

ペダル・ノイズ機能が使用できるピアノでのペダル・ノイズの音量を設定します。

設定レンジ: $\pm 6\text{dB}$ (デフォルト = 0dB)

ピアノ・ストリング・レゾナンス・レベル

ストリング・レゾナンス機能を使用できるピアノのストリング・レゾナンスの音量を設定します。

設定レンジ: $\pm 6\text{dB}$ (デフォルト = 0dB)

FXディレイ・モード

アナログ・ディレイのように、[UP/DOWN] ボタンでディレイ・タイムを変更した時にディレイ音のピッチが変化するかどうかを設定します。ノーマルの場合は、ディレイ・タイムを変更してもディレイ音のピッチは変化しません。

設定レンジ: *Analog* (デフォルト)、*Normal*

ペダル・メニュー

ピアノ・ペダル

Nord Piano 2に付属のサステイン・ペダルの動作環境を設定します。付属のNord Triple Pedalをご使用になれない場合、そのすべての機能とまでは行きませんが別のペダルで代用できます。デフォルト設定の「Auto」は、接続したペダルのタイプを自動的に判断する設定です。

他社ブランドのスイッチ・ペダル・タイプのペダルをお使いの場合、ペダルの極性に合わせる設定をここでを行います。

設定レンジ: *Auto* (デフォルト)、*Triple*、*Closed*、*Open*

ボリューム・ペダル・タイプ

Nord Piano 2の(VOLUME PEDAL)端子に接続したペダルのタイプをここで設定します。接続したペダルを操作すると、その可変幅がディスプレイに表示されます。これは、この機能の「Type」で選択できるペダル以外のものを使用する際に役立ちます。

タイプ: *Roland EV5* (デフォルト)、*Roland EV7*、*Yamaha FC7*、*KORG*、*Fatar SL*

ボリューム・ペダル・ファンクション

Nord Piano 2の(VOLUME PEDAL)端子に接続したペダルを、本機全体、またはサンプル・シンセのみに使用するかを設定します。

サンプル・シンセにのみ使用する場合、例えばピアノとストリングスやパッドをレイヤーし、ピアノを弾いた後にストリングスやパッドが徐々にフェイドインしてくるような効果をペダルで演出することができます。

ファンクション: *Volume* (デフォルト)、*Syn Volume*

ソステヌート・ペダル・ファンクション

Nord Triple Pedalのソステヌート・ペダルは、ソステヌート、シンセ・サスティン、シンセ・サスティン・ゲートの3種類のモードに設定できます。

ソステヌートは、ペダルを踏んだ時に打鍵していた音のみをサスティンさせるモードです。

シンセ・サスティンは、サンプル・シンセにのみサスティンをかけられるモードです。

シンセ・サスティン・ゲートは、Nord Triple Pedalの中央のペダルを踏んだその時に打鍵していたシンセ・サウンドをサスティンさせ、同時にシンセ音源部を鍵盤から切り離すモードです。例えば、このモードを使ってシンセでコードなどをサスティンさせている間に、ピアノのみを演奏するといったことも可能です(ピアノのサスティンは通常のサスティン・ペダルを使って演奏できます)。

△ この機能は、Nord Triple Pedal使用時に有効の機能で、Nord Triple Pedal以外のスイッチ・タイプのペダルを使用した場合、この機能は無効となり、サンプル・シンセのサスティン機能は通常のサスティン・ペダルでのみ可能となりますのでご注意ください。

ファンクション: *Sostenuto* (デフォルト)、*Syn Sustain*、*SynSusGate*

8 Nord Sound Manager

Nord Sound ManagerはNord Piano 2のメモリー・エリアやパーティションの管理を行うアプリケーション・ソフトウェアです。ピアノ・サウンドやサンプル、プログラム(ここでは「サウンド」と呼びます)をコンピュータからNord Piano 2へ転送(ダウンロード)したり、逆にNord Piano 2からコンピュータへ転送(アップロード)をする時に使用します。また、Nord Sound Managerにはサウンドを本機へダウンロードさせる様々な手法があると同時に、本機のメモリー全体のバックアップ・ファイルを作成してコンピュータに保存したり、逆にコンピュータにあるバックアップ・ファイルをNord Piano 2のメモリーに移し替える(リストア)作業も担います。

動作環境

Nord Sound ManagerはMac OSX 10.4以上、Windows XP、7、Vista上で動作します。なお、Nord Sound ManagerをWindowsコンピュータ上でご使用になる場合は、Clavia USB Driverのバージョン3.0以上をインストールの上、ご使用下さい。

インストールする

USBドライバーのインストール

❶ Mac OS Xをお使いの方はこの作業は不要です。

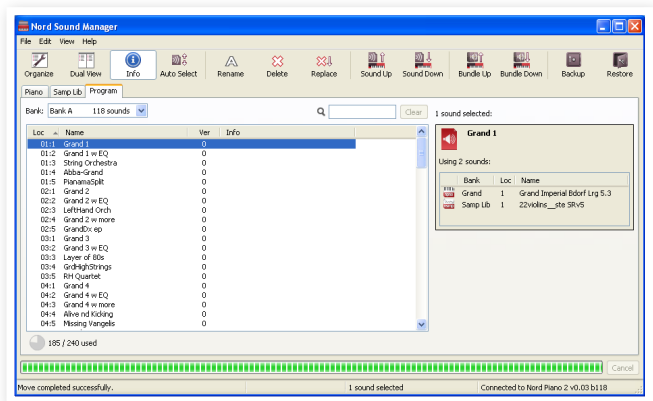
USBドライバーは、Nord Piano 2がコンピュータに接続されている時にインターネットに接続すると自動的にインストールすることがあります。その際はWindowsにドライバーをサーチさせればOKです。ここでは、手動によるインストール手順をご紹介します；

- ❶ Windowsコンピュータ(XP、Vista、7)をお使いの方は、付属DVDに収録されているClavia USB Driver v3.0 Setup.exeをダブルクリックします。
- ❷ 画面に表示される指示に従って作業をします。
- ❸ インストールが完了しますと、Nord Piano 2をコンピュータにUSBケーブルで接続するとUSBドライバーは起動できる状態になります。
- ❹ Nord Piano 2とコンピュータを接続すると、USBドライバーが自動的に起動し、Windowsのタスク・バーに接続が完了したという意味のメッセージが表示されます。

Sound Managerのインストール

- ❶ **Windowsユーザーの方**：DVDのNord Sound Managerフォルダを開き、「Nord Sound Manager v6.x Setup.exe」を起動し、手順に従って作業を慎重に進めます。インストール完了後、Nord Sound ManagerはWindowsのスタート・メニューから起動できます。
 - ❷ **Mac OS Xユーザーの方**：DVDのNord Sound Managerフォルダを開き、「Nord Sound Manager 6.x.dmg」をダブルクリックし、表示されたNord Sound Managerアプリケーションをコンピュータのハードディスクのアプリケーション・フォルダのバーチャル・ハードディスクにドラッグ&ドロップします。
- ⚠ Clavia USB Driver、Nord Sound ManagerはNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)からも入手できます。他にも様々なアップデート情報などが満載のNordウェブサイトにご立ち寄り下さい。

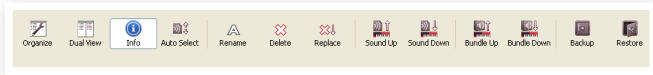
オーバービュー



Nord Piano 2のメモリー・エリアはPiano、Sample、Programというパーティションで構成されています。画面上にあるタブでそれぞれ(「Piano」、「Samp Lib」、「Programs」とタブに書かれています)に簡単にアクセスできます。

- ❶ Nord Piano 2がコンピュータに接続されていない場合は、ページやアイコン、メモリー・ロケーションなどが薄く表示されます。
- ⚠ Nord Sound Manager上で行った作業は、そのままNord Piano 2のメモリーに反映されます。Nord Sound Managerは常に本機と通信していますので、Manager上での変更は即座に本機上で実行されます。例えば、Manager上にあるピアノ・サウンドやプログラムのリストから何かひとつを削除したとします。すると、それに対応するサウンドやプログラムが本機のフラッシュ・メモリーから消去されますので十分にご注意の上、Nord Sound Managerでの作業を行って下さい。

ツールバー



ツールバーはNord Sound Managerでよく使う機能にダイレクトにアクセスできるものです。アイコンをクリックしてそれらの機能へアクセスします。また、ダイアログが表示され、確認を行ったり、さらに細かい作業を行うことも可能です。

タブ



メモリー・エリアのパーティション切替をタブで行います。ピアノおよびサンプル・タブではピアノ、サンプル・サウンドのパーティション管理を、プログラム・タブではプログラムの管理を行います。Nord Sound Managerや本マニュアルでは個々のピアノ、サンプル・サウンドやプログラムのことを「サウンド」と呼びます。

☞ コンピュータのキーボードのコントロール・キーを押しながらタブ・キーを押すとタブの切替ができます。

各タブに表示されるリストはロケーション、名前、サイズ、バージョン、日付を昇順または降順で並べ替えることができます。並べ替えはリストのトップにある項目名をクリックするだけで簡単に行えます。

パーティション・メモリー・インジケーター



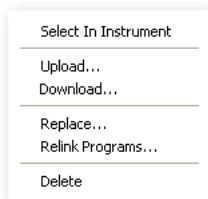
画面下部にあるメモリー・インジケーターは、各パーティションでのメモリー消費量を表示します。インジケーター内のグレーのエリアは既に使われているメモリー、白いエリアは空きスペースで、新しいサウンドに使用できます。

右クリック/Ctrlクリック

サウンドを右クリック/Ctrlクリック(コントロール・キーを押しながらクリック)すると、コンテキスト・メニューが表示され、次のオプションを使用できます：

Select in Instrument

このオプションを選択すると、Nord Sound Managerのリスト上にあるサウンドをNord Piano 2から選択できるようになります。

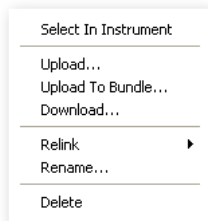


Upload

選択したサウンドをNord Piano 2からコンピュータ上のフォルダに転送します。フォルダは任意に指定できます。

Upload to Bundle(プログラム)

選択したプログラム(複数選択可)とそのプログラムで使用するピアノ/サンプルを「プログラム・バンドル」ファイルとしてコンピュータに保存します。バンドルにつきましては、24ページをご参照下さい。



Download

コンピュータ上にあるサウンドをNord Piano 2のメモリーに転送します。このオプションはNord Sound Managerのリスト上にサウンドが入っていない空きロケーションで右クリック/Ctrlクリックをした場合にのみ有効です。

Replace(ピアノ/サンプル)

この機能は、Nord Piano 2に入っているピアノ/サンプルをコンピュータに入っているピアノ/サンプルと入れ替える時に使用します。この機能を使用すると、入れ替えたピアノ/サンプルを使用していたプログラムの内容が、新しく入ったピアノ/サンプルに置き換わります。

Relink(プログラム)

Relink機能は、プログラム(複数選択可)で現在使用しているサウンドの代わりに別のピアノ/サンプルを使用したい場合に使用します。この時、置き換えたいサウンドがNord Piano 2のメモリーに入っている必要があります。また、この機能は、Nord Piano 2に入っていないピアノ/サンプルを使用したプログラムを修復する際にも使用できます。

Rename

プログラムの名前を変更したり、カテゴリーの割り当てを変更する時にこのオプションを使います。使用できる文字はa~z、A~Z、0~9、そしてハイフン(-)で、最大文字数は16文字です。その他の文字はSound Managerのリストには表示されませんのでご注意ください。

❶ ピアノ・サウンドのリネームはできません。また、ピアノ・サウンドを右クリックしてもこのオプションは使用できません。

Delete

選択したサウンドをNord Piano 2のメモリーから消去します。

ファイル・フォーマットについて

Nord Sound Managerで作成したりNord Piano 2で使用できるファイル・フォーマットには、次の拡張子があります：

拡張子	内容
.npno	Nord Piano Libraryのピアノ・ファイル
.nsmp	Nord Sample Libraryのサンプル・ファイル
.np2p	Nord Piano 2のプログラム・ファイル
.np2b	Nord Piano 2のバックアップ・ファイル
.np2pb	Nord Piano 2のプログラム・バンドル・ファイル

❶ Nord Piano 2は、バージョン5以上のピアノ・ファイルにのみ対応しています。

コンピュータ上の他のファイルと同じように、これらのファイルもリネームをしたり、メールに添付して送ったり、コピーをしたり、移動をしたり、削除をしたり、あるいはハードディスクのクラッシュに備えて別の安全なボリュームに移すことができます。

クイック・ツアー

では、Nord Sound Managerの機能をご紹介します。Nord Sound Managerを操作している間に、Nord Piano 2のメモリー内容を損ねてしまったとしても、付属DVDに収録されているファクトリー・バックアップ・ファイルを使って、本機を工場出荷時の状態にいつでも戻すことができます。

バックアップ・ファイルの作成とレストア作業につきましては、このツアーの末尾(26ページ)でご紹介します。すでにNord Piano 2の音色や設定をエディットしている場合は、必ず最初にバックアップ・ファイルを作成しましょう。

サウンドをNord Piano 2に転送する

工場出荷時のNord Piano 2は、ピアノ/サンプル・パーティションがサウンドで埋め尽くされた状態になっています。そのため、新たにピアノやサンプル・サウンドを追加するには最初から入っていたピアノ/サンプル・サウンドのうちのいくつかを消去しなければなりません。

サウンドを消去する

- 1 消去したいピアノまたはサンプルが入っているタブを開き、ツールバーにある「Delete」アイコンをクリックします。

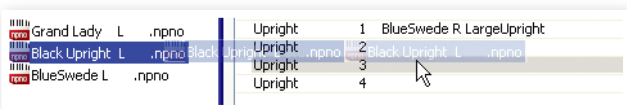
消去の操作は、サウンドを右クリックしてデリートのオプションを選択してもできますし、コンピュータのキーボードのバックスペースまたはデリート・キーでも行えます。

消去操作を行うと、本当に消去しても良いかどうかを確認するダイアログが表示されます。また、消去しようとしているピアノ/サンプルを使用しているプログラムがある場合にも、同様にアラートが表示されます。消去しても問題がないことを確認し、「Yes」をクリックすると、そのサウンドはNord Piano 2のメモリーから消去されます。

☼ プログラムで使用しているピアノ/サンプルを消去した場合、そのプログラムは重要な部分を欠いた状態になってしまっていますが、消去したサウンドを後でリロードすればプログラムは復活します。

新しいサウンドをダウンロードする

- 1 **ドラッグ&ドロップで行う場合**：新しいサウンドが入っているフォルダを開きます。
- 2 新しいサウンドが入っているフォルダとSound Managerの画面が表示されていることを確認します。
- 3 新しいサウンドをSound Managerのリストの空きエリアにドラッグします。カーソルにプラス(+)のマークが出た時点でマウスのボタンを放してドロップします。



- 4 クリーン・テレーツド・スペース処理が自動的に始まり、メモリーの空きスペースを用意し、それが完了すると新しいサウンドがNord Piano 2へダウンロードされます。メモリーに十分な空きスペースがない場合、Sound Managerの画面下部にあるテキスト・エリアにメッセージが表示されます。

☼ ビュー・メニューにあるオーガナイズ・オプションがオンになっている場合、バンク内の空きスペースならどこにでも新しいサウンドをドロップできます。このオプションがオフの場合、新しいサウンドはバンク内の空きスペースの最初のロケーションに自動的に入ります。

❶ ピアノ・サウンドにはあらかじめカテゴリーが設定されています。そのカテゴリーと一致したバンクにのみサウンドを追加することができます。エレクトリック・ピアノのサウンドはグランド・バンクには入れられませんし、グランド・ピアノのサウンドはクラビネット・バンクには入りません。また、サンプルは「Samp Lib」パーティションにのみ追加できます。

- 1 **ツールバーやメニュー・コマンドで行う場合**：ツールバーにある「Sound Down」アイコンをクリックします。同じ操作はファイル・メニューにある「Sound Download (Ctrl-D)」でも行えます。
- 2 ファイル・ブラウザが開き、そこから必要なファイルを選び「Open」をクリックします。するとそのサウンドが該当するバンクの最初の空きエリアに追加されます。

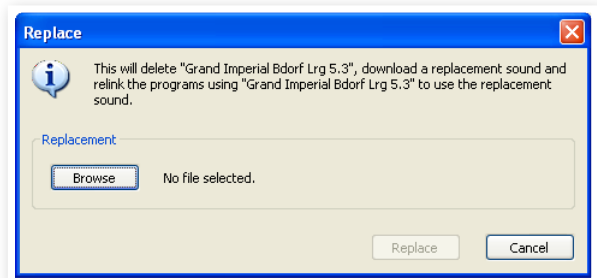
リプレース

リプレース機能は、Nord Piano 2に入っているピアノ・サンプルを、付属DVDやNordウェブサイトからダウンロードしたサンプルと入れ替える機能です。

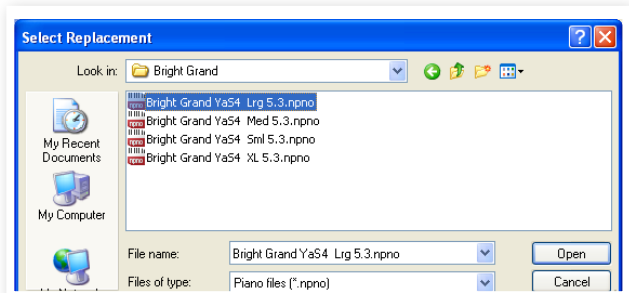
リプレース機能を使用すると、入れ替えたピアノ・サンプルを使用していたすべてのプログラムを自動的にアップデートし、新たに入れたピアノ・サンプルを使ったプログラムとして使用できます。

- 1 ピアノ・タブを開きます。Nord Piano 2に現在入っているピアノ・サンプルのリストが表示されます。
- 2 リストから新たなピアノ・サンプルと入れ替えたいピアノ・サンプルを選択し、ツールバーにある「Replace」アイコンをクリックします。

☼ 入れ替えたいピアノ・サンプルを右クリックするか、エディット・メニューからReplaceコマンドを使用しても同じ操作を行えます。



図のようなリプレース・ダイアログが表示されます。「Browse」をクリックし、コンピュータに入っている新しいサウンドを選択します。図は「Bright Grand」を選択した状態を示しています。



- 3 「Open」をクリックして、リプレースを実行して良いかどうかを確認します。

リプレース処理は、まず元のピアノ・サンプルを消去し、続いてメモリーのクリア処理が行われ、次に新しいピアノ・サンプルがダウンロードされ、最後に元のピアノ・サンプルを使用していた全てのプログラムの更新処理を行います。

☼ リプレースを行って新しいピアノを試して、気が変わった場合、新たに入れたピアノ・サンプルと元のピアノ・サンプルをリプレースすることで元の状態に戻すことができます。

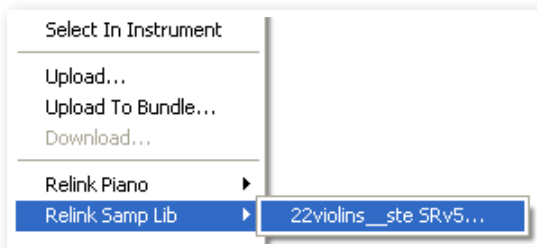
☼ このリプレース機能は、サンプル・シンセ用サンプルでも同様に使用できます。

リンク

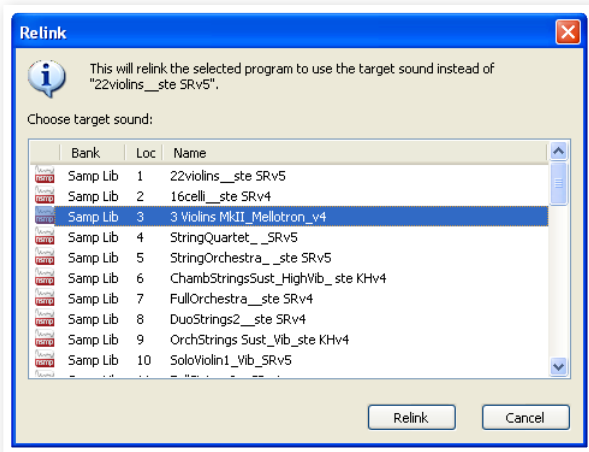
リンク機能は、プログラムで使用しているピアノまたはサンプル(あるいは両方)を入れ替えることができるパワフルな機能です。例えば、新しいグランドピアノのサウンドをNord Piano 2にダウンロードし、これまでのお気に入りだったグランドピアノのサウンドを使用したプログラムで、この新しいグランドピアノを使ってみたくします。これを行うには、これまでとはひとつずつ手動で行わなければなりませんが、リンク機能を使うことで作業が簡単になりました。

では、このリンク機能を使って、既存のプログラムに新たなサウンドを割り当ててみましょう。

- 1 プログラム・タブを開き、リンク機能を使いたいプログラムを右クリックします。
- 2 右クリックをして表示されたコンテキストメニューから、「Relink Samp Lib」を選択します。すると、メニューが右に伸びてそのプログラムで使用しているサンプルが表示されます。



- 3 表示されたサンプルにマウスカーソルを移動させると、リンクダイアログが表示され、表示されたサンプルの代わりに使用できるサンプルの一覧が表示されますので、入れ替えたいサンプルを選択します。



- 4 「Relink」をクリックすると、ダイアログで選択したサンプルに入れ替わります。

❗ リンク機能は、元のサンプル、新しいサンプルがともにNord Piano 2のメモリーに入っている場合にのみ行えます。

ダウンロード・キュー

Nord Piano 2に複数のサウンドをひとつずつ、ドラッグ&ドロップ、またはツールバーやメニュー・コマンドで追加できます。この時、これらのサウンドはダウンロード・キュー(行列)に一旦入ります。サウンドは、ダウンロード・キューに入った順でNord Piano 2にダウンロードされます(必要に応じてメモリーのクリア処理も行われます)。

- 1 ダウンロードしたいサウンドが属するパーティションを開きます。
- 2 コンピュータに入っているサウンドを、Sound Managerのリスト内の空きエリアにドラッグ&ドロップします。

- 3 さらに別のサウンドをSound Managerのリスト内の空きエリアにドラッグ&ドロップします。

Loc	Name	File Size	Status
1	EPiano 1 Mk I Low Deep 5.1	6.2 MB	Downloading... (17%)
2	EPiano 2 Mk I ClosIdeal 5.1	5.9 MB	Queued
3	EPiano 3 Mk II Shallow 5.1	6.8 MB	Queued
4	FDS Bright Times CustomMod 5.1	14.8 MB	5/10

キューに入ったファイルは太字で表示されます。

- 4 キューに入れたのを取り消したい場合は、キューから全てのファイルをデリートするか、または「Cancel」ボタンをクリックします。メモリーのクリア処理中はキャンセル機能は使用できません。

キューに入ってダウンロード待ちのファイルは、キューから消去できますので、消去したい場合はキューに入っているサウンドを右クリックするか、またはツールバーやメニューにあるデリート・コマンドでキューから消去します。

❗ Nord Piano 2にすでに入っているファイルは、キューの処理中に移動またはデリートされません。

サウンドをアップロードする

- 1 コンピュータに保存したいサウンドが入っているパーティションを選びます。
- 2 バンクとサウンドを選択します。コンピュータのキーボードのシフトキーを押しながらクリックすると複数の連続したサウンドを選択でき、コントロールキーを押しながらクリックすると複数の連続していないサウンドを選択できます。下図はサウンドを2つ選択した状態のものです。

Loc	Name	Categor
1	The Grand	Grand
2	Eltons Piano	Grand
3	ZawiTimes	EPiano
4	SparkleTop	EPiano
5	HardTimes	EPiano

- 3 ツールバーにある「Sound Up」アイコンをクリックするか、サウンドを右クリックして「Upload」を選択します。するとファイルブラウザが表示されますので保存したいフォルダを選択します。アップロードにかかる時間は、選択したサウンドの容量によって変化します。

プログラム・バンドル

プログラム・バンドルは、プログラム(複数可)と、そのプログラムで使用しているピアノ/サンプルを1つのファイルにまとめたものです。これは、Nord Piano 2のメモリーを部分的にバックアップを取るのに非常に便利な機能で、1つのプログラムでバンドルを作成した場合、ファイル・サイズは極めて小さいものとなり、アップロードにかかる時間も、メモリー全体に対するバックアップ・ファイルをアップロードするよりも短くなります。

また、例えばライブで使うプログラムをまとめて1つのバンドル・ファイルにすることもでき、それを再びNord Piano 2に戻す際もバンドル単位でレストア作業が行えますので非常に便利です。

❗ 同じピアノ/サンプルが複数のプログラムで使用されていて、それらのプログラムをまとめてバンドル・ファイルを作成した場合、ピアノ/サンプルは、それぞれ1つずつのみがバンドル・ファイルに含まれます(重複しません)。また、バンドル・ファイルに含まれているピアノ/サンプルがすでにNord Piano 2内にある場合、それらはダウンロードされません。

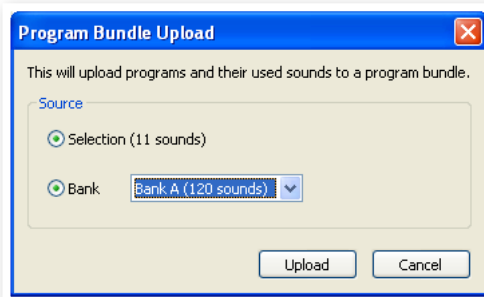
プログラム・バンドルをアップロードする

- ① プログラム・タブを開き、1つまたは複数のプログラムを選択します。Ctrlクリックを使うと、下図のように連続しない複数のプログラムを選択できます：

Bank ▲	Loc	Name
Bank A	01:1	Grand 1
Bank A	01:2	Grand 1 w EQ
Bank A	01:4	Abba-Grand
Bank A	01:5	PianamaSplit
Bank A	02:1	Grand 2
Bank A	02:2	Grand 2 w EQ
Bank A	02:3	LeftHand Orch
Bank A	02:4	Grand 2 w more
Bank A	02:5	GrandDx ep
Bank A	03:1	Grand 3

- ② ツールバーにある「Bundle Up」アイコンをクリックします。

プログラム・バンドル・アップロードのダイアログが開きます：



ダイアログにある2つのオプションのうち、「**Selection**」とあるのは、Sound Managerのプログラム・リストで選択したプログラムと、それらのプログラムで使用しているピアノ/サンプルを指します。

一方、「**Bank**」は、Sound Managerのドロップダウン・メニューで選択したバンク全体のプログラムと、それらのプログラムで使用しているピアノ/サンプルを指します。バンク全体をバンドル・ファイルにする場合、ピアノ/サンプルが多く含まれるために作成に時間がかかります。

- ③ 「Selection」を選択して「Upload」をクリックします。するとバンドル・ファイルに名前を付けて、コンピュータ内の保存先を指定するダイアログが表示されます。

プログラム・バンドル・ファイルの拡張子は「.np2pb」です。

バンドル・ファイルをダウンロードする

バンドル・ファイルをNord Piano 2にダウンロードすると、プログラム・データとともにそれらのプログラムで使用しているピアノ/サンプル・ファイルも同時にダウンロードされます。これらのピアノ/サンプルは、「Piano」/「Samp Lib」パーティションの最初の空きエリアにメモリーされます。

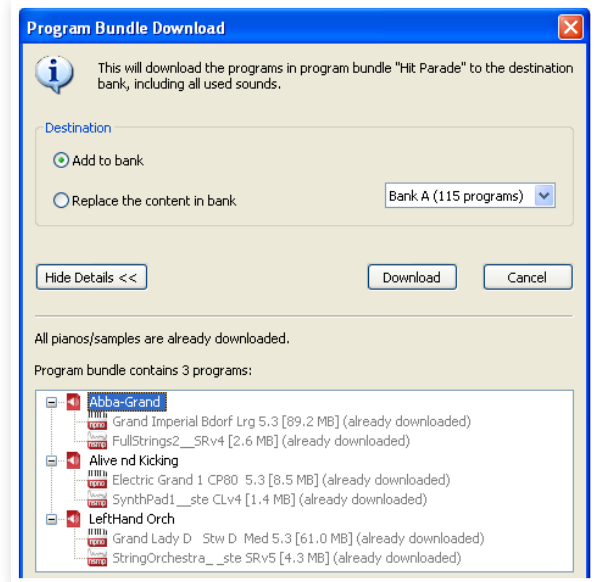
- ❶ ダウンロードするバンドル・ファイルに入っているピアノ/サンプルが、すでにNord Piano 2にある場合、重複を避けるためにこれらはダウンロードされません。バンドル・ファイルをダウンロードすると、プログラムは「Program」パーティションの空きエリアにメモリーされ、そのプログラムは、新規またはすでにNord Piano 2内にメモリーされているピアノ/サンプルを使用します。

- ① 「Program」タブを開きます。
- ② ツールバーにある「Bundle Down」アイコンをクリックします。同じ操作を、ファイル・メニューの「Bundle Download」コマンド (Ctrl+Shift+D) でも行えます。

- ③ ダウンロードしたいバンドル・ファイルを選択し、「Open」をクリックします。

Nord Sound Managerによるバンドル・ファイルの確認処理が終わると、ダウンロード・ダイアログが開きます。

- ☞ バンドル・ファイルの内容(プログラム、ピアノ/サンプル)を確認したい場合は、「Show Details」をクリックします。



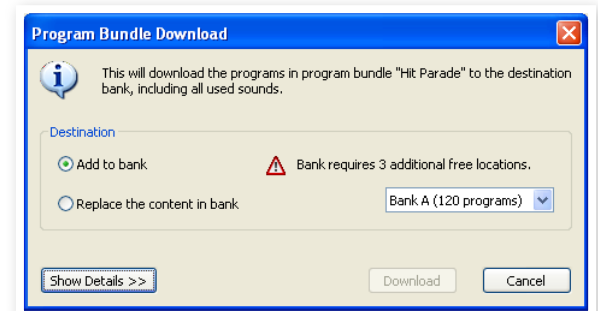
バンドル・ダウンロードには2種類の方法があります。

「**Add to bank**」では、ダウンロードされたプログラム・データがNord Sound Managerのドロップダウン・メニューで指定したバンクに追加されます。この場合、プログラムは指定したバンクの最初の空きエリアにメモリーされます。

- ❶ バンドル・ファイルにあるプログラムが指定したバンク入り切らない場合、ダウンロードは行われず、ダイアログが表示されます。この場合は、そのバンクのプログラムをいくつか消去または別のバンクに移動させてから再びダウンロードを行って下さい。

「**Replace contents**」の場合は、指定したバンクにあるすべてのプログラムを消去し、バンドル・ファイルのプログラム・データをダウンロードします。この場合、プログラムはバンドル・ファイルを作成した時と同じ番号でメモリーされます。

バンドル・ファイルにあるプログラムが指定したバンクに入り切らない場合、下図のようにプログラム・バンクの空きエリアが足りていないという意味のダイアログが表示されます：



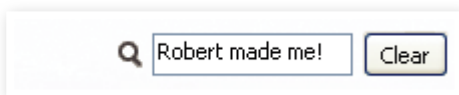
プログラム・パーティションをオーガナイズする

ドラッグ&ドロップでプログラム・パーティション内にある240個のプログラムを自由に組み替えることができます。

- ① ビュー・メニューのオーガナイズ(Organize)がオンになっていることを確認します。
- ② 移動させたいプログラムを選び、移動させたいロケーションにドラッグします。
サウンド(プログラム)を空きロケーションにドロップすると、そのサウンドが元のロケーションから移動します。すでにサウンドがあるロケーションにドロップすると、元のサウンドとそのサウンドのロケーションが入れ替わります。
- ③ プログラムを選択し、コンピュータのキーボードのコントロールキーを押しながらドラッグすると、プログラムがコピーされます。

サーチ・ボックスで検索する

サーチ・ボックスに文字を入力すると、検索ワードに該当したサウンドのみがリストに表示されます。

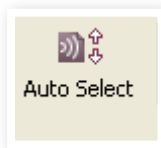


名前が重複しているプログラムを探し出す場合などに便利です。

オート・セレクト

ツールバーの「Auto Select」アイコンをクリックすることで、オート・セレクト機能のオン/オフを行えます。

オート・セレクト機能がオンの場合、サウンド(プログラム、ピアノ/サンプル)をコンピュータのキーボードの矢印キーで選択でき、選択したサウンドが自動的にNord Piano 2上でも選択されます。



☼ サウンド(プログラム、ピアノ/サンプル)をダブルクリックすることでも同様の操作を行えます。

バックアップ・ファイルを作成する

- ① 「Backup」アイコンをクリックすると、Nord Piano 2に入っているすべてのメモリー内容を1つのファイルにまとめたバックアップ・ファイルの作成作業を開始します。



Nord製品は高い信頼性で好評をいただいておりますが、いつ何が起るか分かりませんので、バックアップを定期的にとっておくことをお勧めします。

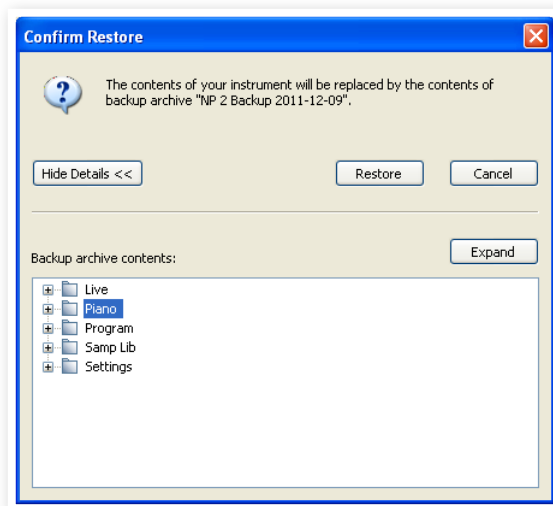
- ② バックアップ・ファイルに名前を付け、コンピュータ内の保存先を指定します。バックアップ・ファイルの拡張子は「.np2b」です。

☼ バックアップ・ファイルの保存先に同名のバックアップ・ファイルがある場合、前回作成したファイルに差分のみを追加して保存します。

レストアする

ツールバーの「Restore」アイコンをクリックし、バックアップ・ファイルを選択して、レストア作業を開始します。同じ操作は、バックアップ・ファイルをNord Sound Managerのウィンドウにドラッグ&ドロップすることでも行えます。レストアは、バックアップ・ファイルの内容をNord Piano 2に戻す作業です。レストアを実行すると、それまでNord Piano 2にメモリーされていた内容が、すべてバックアップ・ファイルの内容に書き換わります。

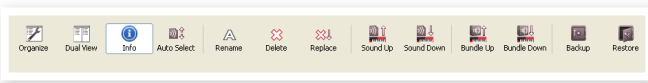
レストア・ダイアログが開き、レストアを実行しても良いかどうかを確認します。「Show Details」をクリックすると、選択したバックアップ・ファイルの内容を確認できます。



ファクトリー・サウンド(工場出荷時のプログラムとピアノ/サンプル)のバックアップ・ファイルは、本機に付属のNord Piano Library DVDにも収録されています。また、このファイルはNordウェブサイトからもダウンロードできます。

Sound Managerリファレンス

ツールバー



Organize

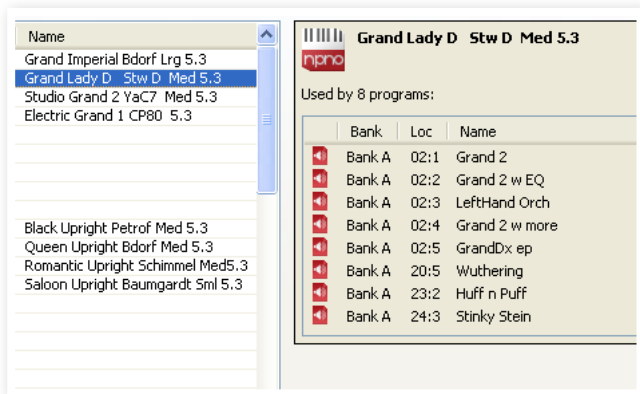
このオプションがオンになっている場合、選択したパーティション/バンクのリストにはすでにサウンドが入っているロケーション以外にも空きロケーションが表示されます。ドラッグ&ドロップでリストの任意の空きロケーションにサウンドを入れたい時などに便利です。このオプションがオフの場合は、リスト表示はサウンドが入っているロケーションのみとなり、リスト内の順番入れ替えなどはできません。

Dual View

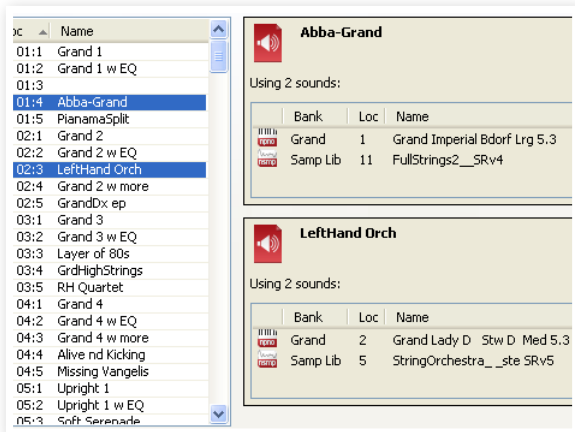
このオプションがオンでプログラム・パーティションが表示されている場合、リストが2つに分割されて表示されます。異なるバンクのリストを表示させて、ドラッグ&ドロップでプログラムを入れ替えるといったことも可能です。

Info

このオプションをオンにすると、リストの右側にインフォメーション・エリアが表示されます。



このエリアは、ピアノ/サンプルを選択した場合には、そのピアノ/サンプルを使用しているプログラムを、プログラムを選択した場合には、そのプログラムで使用しているピアノ/サンプルを表示します。本機のメモリー内容を確認するのに便利です。



例えば、新しいサンプルを本機に入れるために、ファクトリー・サンプルのいくつかを消去しなくてはならないとします。この時、「Samp Lib」パーティションでサンプルを選択し、Infoをオンにします。すると、どのプログラムでそのサンプルを使用しているかが表示され、サンプルを消去することによる影響を事前に確認することができます。

Auto Select

この機能がオンの時は、コンピュータのキーボードの矢印キーでリスト内のサウンド(プログラム、ピアノ/サンプル)をスクロールするとNord Piano 2上も同期してそのサウンドを自動的に選択します。

Rename

プログラムの名前を変更する時にこの機能を使用します。最長16文字、使用できる文字はa~z、A~Z、0~9、そしてハイフン(-)です。その他の文字はリスト画面に表示されませんのでご注意ください。

- ❶ ピアノ・サウンドはリネームできません。ピアノ・サウンドを選択した時はこの機能は使用できません。

Delete

選択したサウンドを消去します。消去する時に確認画面が表示されます。消去の操作はコンピュータのキーボードのデリートまたはバックスペース・キーでも行えます。

- ❶ 消去したピアノ/サンプルを使用していたプログラムがある場合、そのプログラムを選択しても音がまったく出なくなります。これはそのプログラムで必要なサウンドを消去してしまったからです。

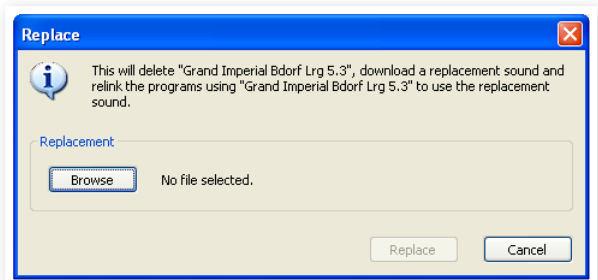
消去したピアノ/サンプルが入っていたメモリー・スペースは、リスト上でフリーと表示されていてもすぐには他のピアノ/サンプルに使用することはできません。これはフラッシュ・メモリーの特性上、データを消去したスペースに新たなデータを入れる際に、そこを完全にクリーンな状態にする必要があります。Nord Sound Managerではピアノ/サンプルを新たに追加する時点でこの処理を自動的に行いますが、必要に応じて「Clean Deleted Space」コマンドを使って手動で行うことも可能です。

- ❶ Nord Piano 2の(PIANO TYPE)と(MODEL)のLEDが点滅している場合、そのプログラムで使用するはずだったピアノ/サンプルがフラッシュ・メモリー上にないことを意味しています。この場合、別のプログラムを選択するか、そのプログラムに必要なピアノ/サンプルをダウンロードして下さい。

Replace

この機能を使って、選択したピアノ/サンプルを、コンピュータに入っているピアノ/サンプルと入れ替えることができます。

この機能はNord Piano 2にメモリーされているピアノ/サンプルを入れ替えるだけでなく、それらを使用していた全てのプログラムも新たに入れたピアノ/サンプルを使用したプログラムに更新されます。



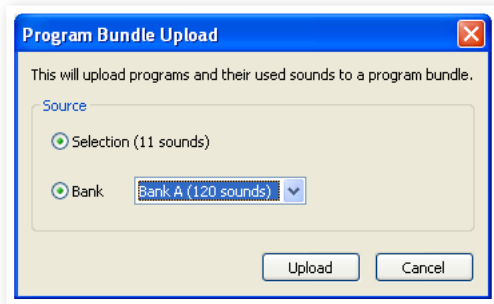
Sound Up

この機能を使ってサウンド(プログラム、ピアノ/サンプル)をNord Piano 2 からコンピュータへアップロードします(複数選択可)。

Sound Down

コンピュータからNord Piano 2にサウンド(プログラム、ピアノ/サンプル)を、選択したパーティションの空きエリアにダウンロードします。

Bundle Up



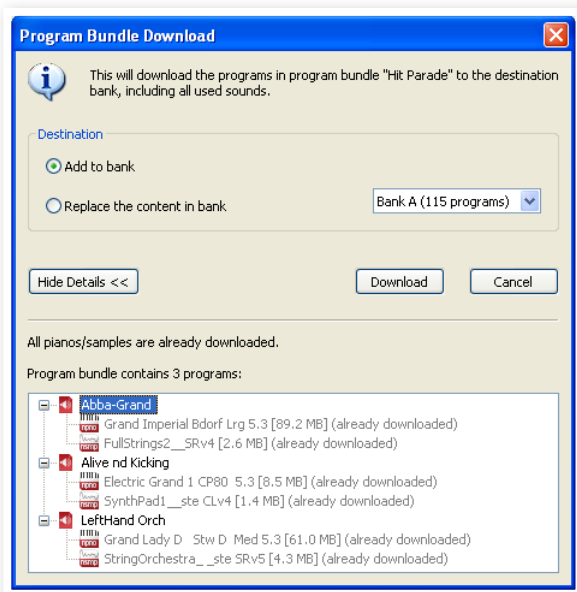
この機能は、選択したプログラム(複数選択可)またはバンク全体のプログラムと、それらのプログラムで使用しているピアノ/サンプルを1つのバンドル・ファイルにしてコンピュータにアップロードします。

デフォルトで選択されているプログラムは、現在選択しているプログラムまたは現在選択しているバンクになりますが、ドロップダウン・メニューで別のバンクに切り替えることができます。

「Upload」ボタンをクリックし、バンドル・ファイルに名前を付けて、保存先を指定すると、バンドル・ファイルを作成し、コンピュータに保存します。拡張子は「.np2pb」です。

Bundle Down

この機能は、コンピュータに保存されているプログラム・バンドル・ファイルをNord Piano 2にダウンロードします。ダウンロードには、現在選択しているバンクにバンドル・ファイルの内容を付け足す方法(**Add to bank**)と、現在選択しているバンクの全内容を消去してからバンドル・ファイルの内容をダウンロードする方法(**Replace**)があります。



Replaceでバンドル・ファイルをダウンロードすると、プログラムはバンドル・ファイルを作成した時と同じ番号にメモリーされます。

Backup

この機能はNord Piano 2に入っている全データ(ピアノ/サンプル、プログラム、ライブ・プログラム、各メニューの設定)を1つにまとめたバックアップ・ファイルを作成し、コンピュータに保存します。拡張子は「.np2b」です。バックアップ・ファイルの作成にかかる時間はピアノ/サンプルのファイル容量によって前後します。

☞ Nord Sound Managerのバックアップ処理は、バックアップ・ファイルのファイル名に変更がない限り、前回のバックアップから変更された分だけを前回のファイルに追加します。

最初にバックアップ処理を行う時は、保存先が「マイドキュメント/Nord Sound Manager files/」に設定されていますが、ファイル・ブラウザ画面で他の場所を指定することができます。

Restore

この機能は以前に作成しコンピュータ上に保存したバックアップ・ファイルをNord Piano 2に戻す時に使用します。バックアップ・ファイル(拡張子「.np2b」)を選択して「Open」をクリックします。

△ レストア機能は「Open」をクリックしてから最終確認が行うダイアログが表示されます。そこで確認をするとNord Piano 2に入っていた全データがバックアップ・ファイルの内容に置き換わりますので、この作業を行う際は十分にご注意下さい。

メニュー・コマンド

Nord Sound Managerでは、WindowsやMacで一般的に使用されているキーボード・ショートカットが使えます。各メニューへはAltキーを押しながらメニュー・バーの下線がある文字をタイプすることでアクセスできます。また、多くのコマンドではコントロール・キー(Macの場合はコマンド・キー)を押しながらメニューを開いた時に表示される各コマンドの文字をタイプしてアクセスできます。

ファイル・メニュー

Sound Upload (Ctrl+U)

Nord Piano 2にメモリーされているサウンドをコンピュータにアップロードします。

Sound Download (Ctrl+D)

コンピュータにあるサウンドをNord Piano 2のメモリーの空きエリアにダウンロードします。

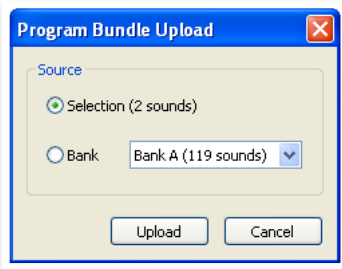
Program Bundle Upload (Ctrl+Shift+U)

バンク全体または選択したプログラムを、プログラムで使用しているピアノ/サンプルと一緒にまとめたプログラム・バンドル・ファイルを作成し、コンピュータにします。

デフォルトでは、現在選択しているプログラムまたは現在選択しているバンクが選ばれていますが、ドロップダウン・メニューで別のバンクに切り替えることができます。

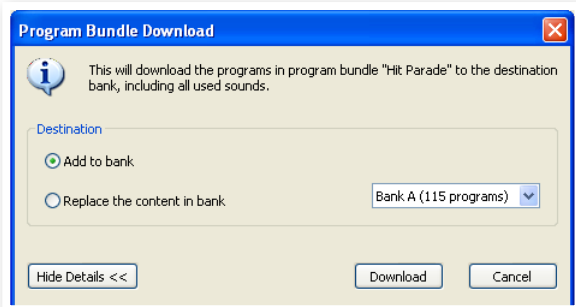
「Upload」ボタンをクリックして、バンドル・ファイルに名前を付けて、コンピュータ上の保存先を指定します。プログラム・バンドル・ファイルの拡張子は「.np2pb」です。

Sound Upload...	Ctrl+U
Sound Download...	Ctrl+D
Program Bundle Upload..	Ctrl+Shift+U
Program Bundle Download...	Ctrl+Shift+D
Backup...	Ctrl+B
Restore...	Ctrl+R
Clean Deleted Space Format	
Export Sound Lists...	
Exit	Ctrl+Q



Program Bundle Download (Ctrl+Shift+D)

コンピュータに保存したプログラム・バンドル・ファイルをNord Piano 2にダウンロードします。ダウンロードは、バンク内に既にあるプログラムに追加してダウンロードする方法と、バンク内のプログラムを全て消去してからバンドル・ファイルをダウンロードする方法の2種類があります。



Backup (Ctrl+B)

この機能を使用してNord Piano 2にメモリーされている全てのデータ(ピアノ/サンプル、プログラム、ライブ・プログラム、各メニューの設定)からバックアップ・ファイルを作成してコンピュータに保存します。この処理で作成されるバックアップ・ファイルの拡張子は「.np2b」です。バックアップ・ファイルの作成にかかる時間は、Nord Piano 2にメモリーされているピアノ/サンプルの容量によって変化します。

☞ Nord Sound Managerのバックアップ処理は、いわゆる増分法を採用しています。バックアップ・ファイルのファイル名に変更がない限り、前回のバックアップから変更された分だけを前回のファイルに追加します。

最初にバックアップ処理を行う時は、保存先が「マイドキュメント/Nord Sound Manager files/」に設定されていますが、ファイル・ブラウザ画面で他の場所を指定することができます。

Restore (Ctrl+R)

以前に保存したバックアップ・ファイルをNord Piano 2に転送します。転送したいバックアップ・ファイル(.np2b ファイル)を選択し、「Open」をクリックします。

⚠ レストア機能は「Open」をクリックすると最終確認が行うダイアログが表示されます。そこで確認をするとNord Piano 2に入っていた全データがバックアップ・ファイルの内容に置き換わりますので、この作業を行う際は十分にご注意下さい。

Clean Deleted Space

ピアノ/サンプルやプログラムを消去した後に、そのメモリー・エリアをクリーンな状態にし、新たなサウンドを追加できるようにします。

❶ この処理は新たなピアノ/サンプルやプログラムをNord Piano 2にダウンロードする時に自動的に行われますが、必要に応じて手動でも行えます。

Format

この機能は、現在選択しているパーティション全体をフォーマットして、一気にすべてのサウンドを消去してしまう、大変危険な機能です。実行時には最終確認を行えますが、十分ご注意の上で使用下さい。

Export Sound Lists

Nord Piano 2のメモリー内容をテキストのリストに書き出してコンピュータに保存します。このリストに含まれる内容は、ピアノ/サンプルの名前、ロケーション、ファイル容量、全プログラムのリストと、それらで使用しているピアノ/サンプルです。

このリストはHTML形式で保存され、ファイルを開くとウェブブラウザで表示されます。ウェブブラウザによってはリストを印刷することも可能です。また、リストにさらなる情報を書き込みたい場合、表計算ソフトでリストを開くこともできます。

Exit (Ctrl+Q)

Nord Sound Managerを終了させる時に使用します。

エディット・メニュー

Rename (Ctrl+N)

プログラムの名前を変更する時に使用します。最長16文字まで入力でき、使用できる文字はa～z、A～Z、0～9、そしてハイフン(-)です。その他の文字はNord Sound Managerでは表示しませんのでご注意ください。

❗ ピアノ/サンプルはリネームできませんので、ピアノ/サンプルを選択している場合、リネームは選択できません。

Delete (Del)

選択したサウンドをNord Piano 2のメモリーから消去します。実行時に最終確認を行えます。

⚠ 消去するピアノ/サンプルがプログラムで使われている場合、そのピアノ/サンプルを消去しても良いかどうかを確認するダイアログが表示されます。

Replace

選択したピアノ/サンプルを、コンピュータにある選択したピアノ/サンプルと入れ替えるコマンドです。このコマンドを実行すると、そのピアノ/サンプルを使用していた全てのプログラムは、新たなピアノ/サンプルを使用したプログラムとして更新されます。

Select All (Ctrl+A)

バンクまたはパーティション内の全てのサウンドを選択します。

Invert Selection

元々選択したサウンドを選択から外し、それ以外の選択していなかったサウンドをすべて選択する時に使用します。

ビュー・メニュー

Organize (Ctrl+O)

このオプションにチェックが入っていると、選択しているバンク/パーティション内の空きエリアも含めたすべてのメモリー・ロケーションがリストに表示されます。このオプションにより、ドラッグ&ドロップを使ってリストの中間部にサウンドを移動させたりすることが容易になります。また、このオプションにチェックが入っていない場合は、空きエリアはリストに表示されません。

Dual View (Ctrl+L)

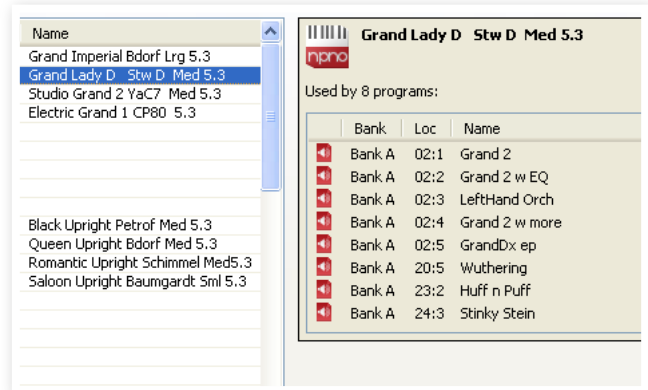
このオプションにチェックが入っていると、リストが2つに分割して表示されます。ドラッグ&ドロップでプログラムを並び替えたい時に便利です。また、ドロップダウン・メニューで異なるバンクをそれぞれ表示させることも可能です。バンク間でプログラムをドラッグ&ドロップで入れ替えることも可能です。

☞ ドラッグ&ドロップでサウンドを移動させている間に、コンピュータのキーボードのコントロール・キーを押すとコピーになります。

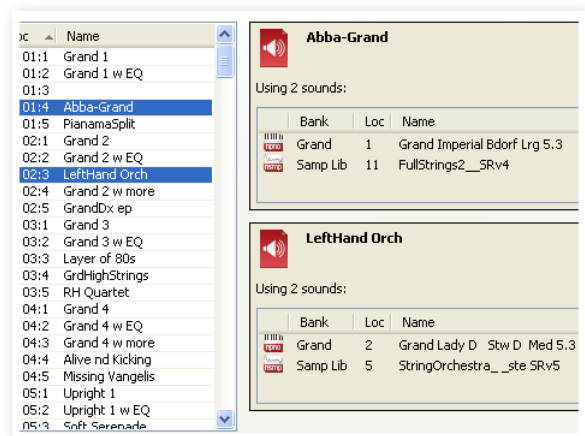
Rename	Ctrl+N
Delete	Del
Replace...	Ctrl+P
Select All	Ctrl+A
Invert Selection	

Info (Ctrl+I)

サウンド(プログラム、ピアノ/サウンド)を選択してこのコマンドを使用すると、リストの右側にインフォメーション・エリアが表示されます。



このエリアには、ピアノ/サンプルを選択していた場合は、それらを使用している全てのプログラム、プログラムを選択していた場合は、それらで使用されている全てのピアノ/サンプルが表示されます。



Auto Select

この機能がオンの時、リスト表示されているサウンドをコンピュータの矢印キーでスクロールするとNord Piano 2側でもそれに同期して自動的にそのサウンドを選択します。

ヘルプ・メニュー

About...

About

Nord Sound Managerのバージョン・ナンバーがアバウト・ボックスに表示されます。また、そのNord Sound Managerに対応したNord製品とそのOSバージョンもリスト表示されます。

タブ



Piano - Samp Lib - Program

パーティションの切替はタブで行います。各パーティションにはバンクがあり、ドロップダウンメニューで切り替えます。バンクを選択するとパーティションの内容がリスト表示されます。

☞ コンピュータのキーボードのCtrl+Tab(コントロールキーを押しながらタブキーを押す)でタブを切り替えることも可能です。

サーチボックス

検索ワードを入力して、該当するピアノ/サンプルやプログラムを表示します。「Clear」をクリックすると検索が解除され、表示が元に戻ります。

ロケーション(Loc)

ピアノ/サンプル、プログラムの1つ1つがメモリーされている番地(番号)のことを、ロケーションと呼びます。このロケーションが集合したものがバンクで、各バンクに入るロケーション数は、バンクのタイプによって異なります。

ネーム

ピアノ/サンプル、プログラムの名前です。

サイズ

ピアノ/サンプルのメモリー容量を表示します。ピアノ/サンプルの入れ替え時やメモリー容量を調べたい時に便利です。プログラム・リストではサイズは表示されません。

バージョン・ナンバー(Ver)

ピアノ/サンプルやプログラムのバージョン・ナンバーを表示します。楽器側のOSバージョンが古いと、新しいバージョンのサウンドが使用できないこともありますのでご注意ください。

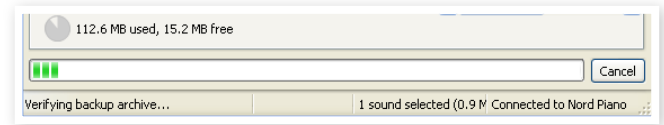
インフォ

インフォエリアには、Nord Piano 2のメモリー内容に関する様々なメッセージが表示されます。プログラムで全く使用されていないピアノ/サンプルがある場合や、プログラムで使用するはずのピアノ/サンプルがNord Piano 2にメモリーされていない場合などに、メッセージやアラートが表示されます。

また、万が一ピアノ/サンプル・ファイルが破損したり何らかの理由でNord Piano 2で認識されないなどのエラーが生じた場合にも、このエリアにメッセージが表示されます。もしこのような場合が発生しましたら、破損したファイルを消去し、改めてロードします。

フッタ・エリア

フッタ・エリアはNord Sound Managerの画面の最下部にあります。



パーティション・メモリー・インジケーター

選択したパーティションのメモリー使用状況を表示します。グレーの部分が使用済みエリア、白の部分は新しいサウンドを追加できる空きエリアです。

ピアノ・パーティションの最大容量は約500MB、サンプル・パーティションの最大容量は約128MBです。

キャンセルボタン

実行中の処理を中止したい時にこのボタンをクリックします。レストア機能などの最終確認を行う処理には使用できません。

プログレス・バー

実行中の処理の進行状況を表示するバーです。

メッセージ/テキスト・エリア

テキスト・エリアの左側ではNord Sound Managerの現在状況やエラー・メッセージを表示します。

右側のエリアではNord Piano 2との接続状況やNord Piano 2のOSバージョン・ナンバーを表示します。

新しいツール、新しいサウンド

Nord Sound Manager最新版やNord Piano 2で使用できる新しいサウンドなどが無料でダウンロードできるNordウェブサイト(www.nordkeyboards.com)へぜひお立ち寄り下さい。これらのアップデートは、サイト内のダウンロード・エリアやライブラリー・エリアから無料でダウンロードできます。

9 MIDI

MIDIインプリメンテーションについて

Nord Piano 2は、以下のMIDIメッセージの送受信が行えます：

ノート・オン/オフ

- ・ ノート・オン、ノート・オフ・メッセージの送受信

コントローラー

コントロール・チェンジ・メッセージの送受信の設定は、MIDIメニューで行えます。詳しくは19ページをご参照下さい。

- ・ Nord Triple PedalをNord Piano 2のサスティン・ペダル端子に接続した場合、サスティン・ペダルのメッセージをコントローラー64で送信します。
- ・ Nord Triple PedalをNord Piano 2のサスティン・ペダル端子に接続した場合、ソステヌートのメッセージをコントローラー66で送信します。
- ・ Nord Triple PedalをNord Piano 2のサスティン・ペダル端子に接続した場合、ソフト・ペダルのメッセージをコントローラー67で送信します。
- ・ フロント・パネルのほとんどのノブやボタンもコントロール・チェンジ・メッセージの送受信が行えます。ノブの動きやボタン操作をMIDIシーケンサーに記録させることも可能です。Nord Piano 2の各パラメーターとコントロール・ナンバーとの対応につきましては、本章のMIDIコントローラー・リストをご覧ください。

☞ MIDIメニューでMIDIチャンネルを「USB」で始まるチャンネルに設定すると、MIDIメッセージをUSB端子からも送信できます。詳しくは19ページの「MIDIメニュー」をお読み下さい。

キーボード・ベロシティ

Nord Piano 2はキーボード・ベロシティ・メッセージの送受信が可能です。リリース・ベロシティの送信も行えます（受信はしません）。

プログラム・チェンジ

MIDIメニュー（19ページをご参照下さい）でプログラム・チェンジ・メッセージの送受信設定を行えます。

プログラムを選択すると、プログラム・チェンジ・メッセージが送信されます。Nord Piano 2で設定したMIDIチャンネルのプログラム・チェンジ・メッセージを受信すると、それに応じてプログラムが切り替わります。バンクを切り替えると、バンク・セレクト・メッセージ(CC32、値は0 (Bank A)または1 (Bank B))が送信されます。

Nord Piano 2の120個のプログラムはMIDIプログラム・チェンジの0～119に対応しています。ライブ・モード・プログラムは120～124に対応しています。

MIDIシステム・エクスクルーシブ

プログラムのデータをシステム・エクスクルーシブ・ダンプで送受信することができます。

Nord Piano 2をシーケンサーで使用する

シーケンサーと接続する

- ① Nord Piano 2のMIDIアウトをシーケンサーのMIDIイン接続します。または、Nord Piano 2とシーケンサー（コンピュータ）をUSBケーブルで接続します。
- ② シーケンサーのMIDIアウトをNord Piano 2のMIDIインに接続します。または、Nord Piano 2とシーケンサー（コンピュータ）をUSBケーブルで接続します。

ローカル・オン/オフ

Nord Piano 2とシーケンサーを使用する時はローカル・オフに設定するをお勧めします。シーケンサーに入力されたMIDIメッセージがそのままMIDIアウトへ出力される状態、つまりNord Piano 2からのMIDIメッセージがループしてしまい、二重に発音してしまうことを防ぐためです。ローカル・オン/オフの設定につきましては、19ページの「MIDIメニュー」をご参照下さい。

MIDIチャンネル

Nord Piano 2で使用するMIDIチャンネルをMIDIメニューで設定します。詳しくは19ページをご覧ください。

プログラム・チェンジ

プログラム・チェンジの情報は、シーケンサーのトラック設定に記録しておくのが一般的です。Nord Piano 2の各バンク120個のプログラムはプログラム・チェンジの0～119に対応しています。

プログラム・チェンジ・メッセージをシーケンサーに記録する場合は、Nord Piano 2でプログラムを切り替えればOKです。

コントローラー

ノブやボタンの操作をシーケンサーに記録する際には、シーケンサーのエコーバック設定で正しいMIDIチャンネルになっているかをご確認下さい。MIDIがループ状態になってしまうと、思い通りの操作ができなくなる場合があります。

コントローラーの「チェイス」機能について

次のような状況をイメージしてみましょう。シーケンサーの曲の途中でリバーブのウェット/ドライ・ミックスの変化を記録したとします。記録を終え、曲の先頭から聴いてみたらリバーブのウェット/ドライが変化させた後のままになっていました。本来なら変化する前の状態になって欲しいのですが…

この問題を解決するには、シーケンサーの曲の先頭にNord Piano 2の各コントローラーの状態を記録させておきます。詳細は次のページの「MIDIコントローラー・ダンプを送信する」をご覧ください。

プログラム&コントローラー・ダンプ

プログラムのシステム・エクスクルーシブ・ダンプやMIDIコントローラーのデータをもう1台のNord Piano 2やシーケンサーに送信する場合、次の手順で行います：

プログラム・ダンプを送信する

- ① Nord Piano 2のMIDIアウトを、受信するMIDI機器のMIDIインに接続します。またはUSB接続をします。
 - ② 受信側の機器でMIDIシステム・エクスクルーシブとMIDIコントローラー・データを受信できる状態に設定します。
 - ③ Nord Piano 2の〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔MIDI〕押してMIDIメニューに入り、〔UP/DOWN〕ボタンで「Dump One」または「Dump All」を選択します。
 - ④ 必要に応じて、受信側の機器をレコーディング・モードにセットします。
 - ⑤ 〔STORE〕ボタンを押すとNord Piano 2からデータが送信されます。送信が完了するとディスプレイに送信が終わった旨のメッセージが表示されます。
- ❗ プログラムのすべてのパラメーター情報がプログラム・ダンプで送信されますが、ピアノ/サンプル・データは送信されません。

プログラム・ダンプをNord Piano 2に受信させる場合、そのプログラムで使用しているピアノ/サンプルが受信側のNord Piano 2に入っているかをご確認下さい。そうでないと別のピアノ/サンプルに適用されてしまう場合があります。

MIDIコントローラー・ダンプを送信する

- ① 「プログラム・ダンプを送信する」の手順①と②を行います。
- ② 〔SHIFT〕ボタンを押しながら〔MIDI〕を押してMIDIメニューに入り、〔UP/DOWN〕ボタンで「Send CC」を選択します。
- ③ 〔STORE〕ボタンを押すとNord Piano 2からデータが送信されます。送信が完了するとディスプレイに送信が終わった旨のメッセージが表示されます。

システム・エクスクルーシブ・ダンプを受信する

MIDIシステム・エクスクルーシブ・ダンプの受信手順です：

- ① 送信側の機器のMIDIアウトをNord Piano 2のMIDIインに接続します。
- ② 送信側の機器で送信操作を行います。

受信するデータがすべてのプログラムの場合、Nord Piano 2に入っているプログラムはすべて受信されるデータに置き換わります。受信するデータがプログラム1つ分の場合、そのデータは受信側のNord Piano 2で選択していたプログラムに一時的に入ります。

ディスプレイの左上部分、プログラム・ナンバーのとなりにアスタリスク（※印）が表示されている場合、そのプログラムはまだ保存されていないプログラムです。そのプログラムを保存する場合は保存の操作を行います。詳しくは14ページの「プログラムを保存する」をご参照下さい。

MIDIコントローラー・リスト

以下のリストはNord Piano 2のフロント・パネルにあるすべてのノブ、ボタンに対応するMIDIコントローラー・ナンバーの一覧です：

Nord Piano 2パラメーター	MIDIコントローラー・ナンバー
Kbd Split	14
Transpose	15
Kbd Touch	33
Piano Level	106
Piano Type	12
Piano Model	44
Piano On/Off	46
Clav Model	45
Acoustic Model String Resonance/Release	79
Acoustic Model Pedal Noise	78
Piano Octave Shift	105
Synth Level	51
Sample Select	52
Synth Attack	53
Synth Release	54
Synth On/Off	55
Synth Octave Shift	56
Effect 1 Rate	63
Effect 1 Type	60
Effect 1 On/Off	69
Effect 1 Source	70
Effect 2 Rate	62
Effect 2 Type	61
Effect 2 On/Off	80
Effect 2 Source	71
Delay Mix	75
Delay Feedback	76
Delay On/Off	84
Delay Source	85
EQ On/Off	115
EQ Treble	113
EQ Mid	116
EQ Mid Freq	117
EQ Bass	112
EQ Source	118
Amp/Comp On/Off	86
Amp/Comp Amount	111
Amp/Comp Sel	81
Amp/Comp Source	87
Reverb Wet/Dry	102
Reverb Sel	96
Reverb On/Off	97
Sustain Pedal	64
Soft Pedal	67
Sostenuto Pedal	66
Volume Pedal	11

MIDIインプリメンテーション・チャート

機能		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル		1-16	1-16	
デフォルトチャンネル		1-16	1-16	
モード	デフォルト	モード3	モード3	
	メッセージ	×	×	
	その他			
ノートナンバー		0-127	0-127	
	トゥルーボイス			
ベロシティ	ノートオン	○、v = 1-127	○、v = 1-127	
	ノートオフ	○、v = 1-127	×、v = 1-127	
アフタータッチ	キー	×	×	
	チャンネル	×	×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロールチェンジ		○	○	
プログラムチェンジ		○、0-127	○、0-127	
トゥルーナンバー				
システムエクスクルーシブ		○	○	
システムコモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
システムリアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他のメッセージ	ローカルオン / オフ	×	×	
	オールノートオフ	×	×	
	アクティブセンス	×	×	
	リセット	×	×	
ナンバー	トゥルーボイス			

Mode 1: Omni On, Poly - Mode 2: Omni O, Mono - Mode 3: Omni Off, Poly - Mode 4: Omni Off, Mono - O = Yes - X = No

Model: Nord Piano 2 OS v1.x Date: 2011-01-02

10 索引

英数

EQ 18
 Lアウト 8
 MIDIチャンネル 19
 MIDIコントローラー・リスト 33
 MIDIイン 8
 MIDIインジケーター 14
 MIDIメニュー 19
 MIDIアウト 8
 Triple Pedal 9
 Up/Downボタン 14

ア行

アコースティックス 16
 アタック 17
 イグジット 29
 インバート・セレクション 30
 インフォ 30
 エクスポート・サウンドリスト 29
 エディット 10
 エフェクト 12、17
 オート・パン 18
 オート・ワウ 18

カ行

拡張子 22
 キーボード・タッチ 15
 キャンセル 31
 クラビネット 17
 クリーン・デリケート・スペース 29
 グローバルトランスポーズ 19
 コーラス 18
 コントロール・チェンジ 19
 コンプレッサー 18

サ行

サイズ 31
 サウンド・アップロード 29
 サウンド・ダウン 27
 サウンド・メニュー 20
 サンプル・オクターブ・シフト 17
 サンプル・シンセ 17
 セレクト・オール 30
 センドCC 19
 システム・メニュー 19
 シフト 15
 シフト・ボタン 7
 スtring・レゾナンス 16
 String・レゾナンス・レベル 20
 ソステヌート 9

タ行

ディレイ 18
 デリート 27、30
 テンポ・タップ/セット 18
 トランスポーズ 15
 トレモロ 18

ハ行

パーティション・メモリー 31
 ハーフ・ペダル 9
 バックアップ 28、29
 バンク・アップ 28
 バンドル・ダウン 28
 バンドル・アップ 28
 ピアノ 16
 ピアノ・タイプ 16
 ファイル形式 22
 ファイン・チューン 19
 ファクトリー・プリセット 4
 フィードバック 18
 フェイザー 18
 フォーマット 29
 譜面立て 9
 フランジャー 18
 プログラム 14
 プログラム・チェンジ 19
 プログラム・バンドル 24
 プログラム・メモリー 10
 プログレス 31
 ペダル・ノイズ 16
 ペダル・メニュー 20
 ヘッドフォン 8
 別名で保存 14
 保存 11、14

マ行

マスター・レベル 14
 メモリー・プロテクト 11、19
 モデル 16
 モニター・イン 8
 モノ 15

ラ行

ライブ 11
 ライブ・モード 15
 リネーム 30
 リバース 18
 リブレース 23
 リリース 17
 リリンク 22、24
 レストア 29
 レベル(シンセ) 17
 ローカル 19
 ローカル・コントロール 19
 ロケーション 31

ワ行

ワウワウ 18

Nord Piano 2仕様

グローバル

- LCDディスプレイ
- プログラム：240プログラム(5プログラム×24ページ×2バンク)
- ライブ・モード：5 ライブ・プログラム
- グローバルトランスポーズ：±6半音
- プログラムトランスポーズ：±6半音
- ファインチューン：±50セント
- キーボード・タッチ：4種類(ペロシティ・レスポンス・カーブ)
- スプリット機能：任意のポイントでスプリットを設定可能
- レイヤー機能
- モノラル・アウトプット機能
- ダイナミック・サスティン・ペダル機能：Nord Triple Pedalを接続して使用可能
- USB-MIDI 機能
- 無償OSアップデート可能

ピアノ・セクション

- ピアノ・タイプ：6種(グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ1、エレクトリック・ピアノ2、クラビネット、ハーブシコード)
- 同時発音数：40/60ボイス(ステレオ/モノ・ピアノ)
- スtring・レゾナンス(第2世代)：ミックス量調整可能
- ロング・リリース機能：グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ、ハーブシコードの各タイプで使用可能
- ペダル・ノイズ機能：グランド、アップライト、エレクトリック・ピアノ1の各タイプで使用可能、ミックス量調整可能
- オクターブトランスポーズ：±1オクターブ

サンプル・シンセ・セクション

- 最大99サンプル・インストゥルメントをメモリー可能
- 同時発音数：16ボイス
- アタック、リリース・コントロール
- オクターブトランスポーズ：下1オクターブ、上3オクターブ
- ソステヌート・ペダルでサンプル・シンセ・セクションのサスティン・コントロールが可能(Nord Triple Pedal を使用)
- ポリウム・ペダルにより、サンプル・シンセ・セクションのポリウム・コントロールが可能(ポリウム・ペダルは別売オプション)

メモリー容量

- ピアノ・セクション：約500MB
- サンプル・シンセ・セクション：約128MB

エフェクト・セクション

- エフェクト1：パン、トレモロ、ステレオ・オートワウ：3段階選択式デプス調整(パン、トレモロ)、ノブで周期調整可能
- エフェクト2：ステレオ・フェイザー、フランジャー、コーラス：3段階選択式デプス、ノブで周期調整可能
- デレイ：4段階選択式フィードバック、ドライ/ウェット調整可能、デレイ・タイム(20ms~750ms)は手動及びタップ・テンポで調整可能
- 3バンドEQ：ベース(100Hz)、ミッド(200Hz~8kHz)、トレブル(4kHz)：各バンド±15dB
- コンプ/アンプ：Twin、JC、Small(以上モノ)、チューブ・ディストーション、コンプレッサー(以上ステレオ)、ノブでドライブ/コンプレッション量を調整可能
- リバーブ：6アルゴリズム(Room1/2、Stage1/2、Hall1/2)、ドライ/ウェット調整可能
- 各エフェクト・セクションはピアノ、サンプル・シンセ・セクションにアサイン可能

接続端子

- オーディオ・アウトプット(L/R)：標準フォーン・ジャック(6.35mm)、アンバランス接続
- モニター・インプット：ミニ・ステレオ・ジャック(3.5mm)
- ヘッドフォン・アウトプット：標準ステレオ・ジャック(6.35mm)
- ピアノ・ペダル・インプット：標準フォーン・ジャック(6.35mm)、Nord Triple Pedalまたは市販のモーメンタリー・タイプのペダルを接続
- ポリウム・ペダル・インプット：標準ステレオ・ジャック(6.35mm)、市販のコントロール/エクスプレッション・ペダルを接続
- MIDI IN、MIDI OUT
- USB：タイプBコネクタ、USB-MIDIの送受信可能
- 電源コネクタ

外形寸法

- Nord Piano 2：1,287 (W) x 340 (D) x 121 (H) mm
- Nord Triple Pedal：264 (W) x 224 (D) x 70 (H) mm

重量

- Nord Piano 2：18.3kg
- Nord Triple Pedal：2kg

付属品

- Nord Triple Pedal
- 電源コード
- Nord Piano Library v5 DVD-ROM
- Nord Sample Library DVD-ROM

別売オプション

- Nord Keyboard Stand EX(キーボード・スタンド)
- Nord Soft Case(ソフト・ケース)
- Nord Music Stand(譜面立て)

仕様は予告なく変更することがあります。

Steinway、Wurlitzer、Hohner、Clavinet、Farfisa、Voxを含む、本マニュアルに記載のClavia社以外のブランド名および製品名は、各所有者の商標であり、Clavia社とは一切関係ありません。これらの商標は、本機のサウンドや機能を説明するためにのみ使用しています。

